

サッカーと、時間^{とき}を刻む。

HISTORY PRIDE DREAM



サッカーのまち藤枝 ドリームプラン2019

～歴史・誇り・夢あふれる「蹴球都市ふじえだ」～

平成31年3月



サッカーのまち藤枝ドリームプラン2019

～歴史・誇り・夢あふれる「蹴球都市ふじえだ」～

INDEX 目次

第1章 基本的な考え方

- ① 1 計画策定の趣旨
- ② 2 計画の位置づけと期間
- ③ 3 計画策定の組織・体制

第2章 現状と課題

- ④ 1 これまでの取り組みと成果
- ⑦ 2 藤枝市のサッカーを取り巻く現状と課題

第3章 計画の方向と展開

- ⑧ 1 基本理念と目標
- ⑪ 2 施策の体系
- ⑬ 3 施策の展開

第4章 計画の推進

- ⑲ 1 計画の進捗状況の管理・評価
 - 2 関係団体等との協働
 - 3 第5次藤枝市総合計画（後期計画）に位置づけた成果指標

参考資料

- ⑳ 1 「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」見直しのためのアンケート（結果）
- ㉘ 2 計画策定スケジュール
- ㉙ 3 計画策定組織名簿
- ㉚ 4 平成30年度 藤枝市サッカー協会所属チーム
- ㉜ 5 サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

本市は、サッカーにおける歴史がおよそ1世紀にわたり、その間に数々の全国大会で輝かしい成績を収めサッカー界に多くの優秀な人材を輩出するなど、「サッカーのまち」として先駆的な役割を果たしてきました。市民のサッカーへの関心は非常に高く、競技者のみならず多くの人がサッカーに親しんでおり、ひとつのスポーツという枠を超えた市の文化として根づいています。

こうしたサッカー文化を市の個性として位置づけ、平成21年に、より具体的に、かつ戦略的に「サッカーのまち藤枝」を推進するため、「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」を策定し、一層のサッカーの振興とともに、経済の活性化や青少年の健全育成、ふるさと意識の醸成、地域間・世代間交流など、サッカーを「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」という多様な観点から捉えた取り組みを行ってきました。

今回、第2期計画である「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2014」の計画期間満了に伴い、引き続き第5次藤枝市総合計画に掲げる「サッカーを核としたまちづくりの推進」施策に対応するため、これまでの基本理念を見直しつつ、施策展開の3つの視点、6つの目標は継承するなかで、施策の見直しを図りました。

大正13年(1924年)に静岡県立志太中学校(現藤枝東高校)において、「蹴球」が校技として定められたことから始まった本市サッカーの歴史。今日に至るまでの長い歴史の中で培われたサッカー文化は市民の誇りであり、その文化が次世代へ受け継がれ、新しい夢が次々と花が咲くよう、これまでの歴史に敬意と誇りを持ちつつ、未来に向けた夢や希望を抱き、単なる「サッカーのまち」ではなく、サッカーにおける長い歴史に支えられた「蹴球都市」を宣言し、計画を推進していきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催や本市出身の長谷部誠選手の日本代表からの引退、藤枝順心高校をはじめとした女子サッカーの活躍など、本市サッカーを取り巻く動向や環境の変化、社会・経済情勢などを踏まえ、「サッカーを核としたまちづくり」を組織的かつ戦略的に推進するため策定しました。

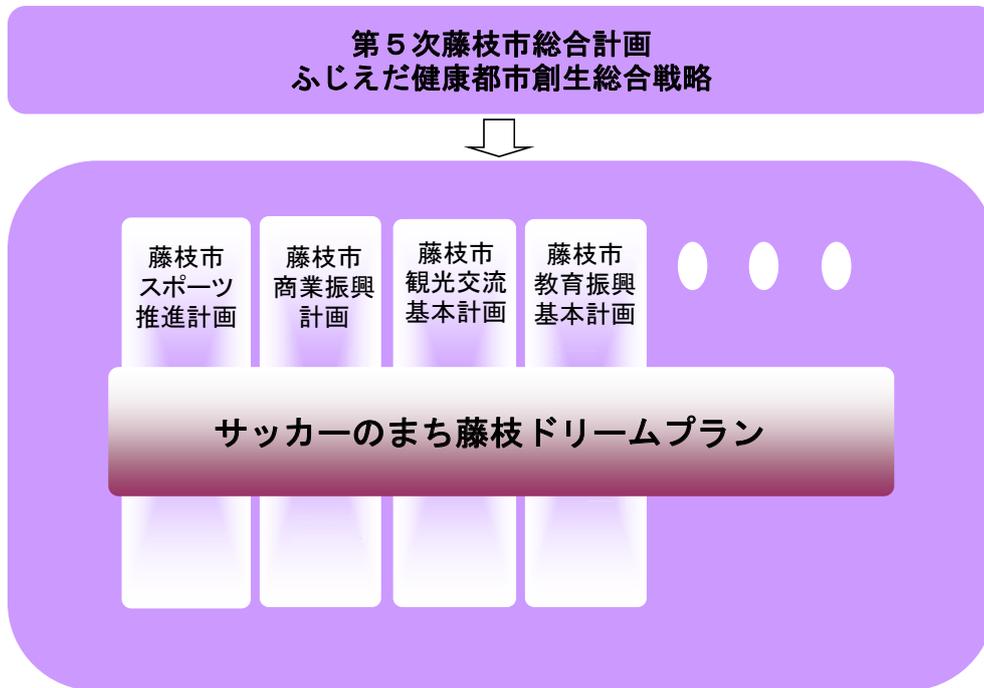


サッカーを核としたまちづくりのイメージ

本計画は、「第5次藤枝市総合計画」や「ふじえだ健康都市創生総合戦略」を基本に策定しました。

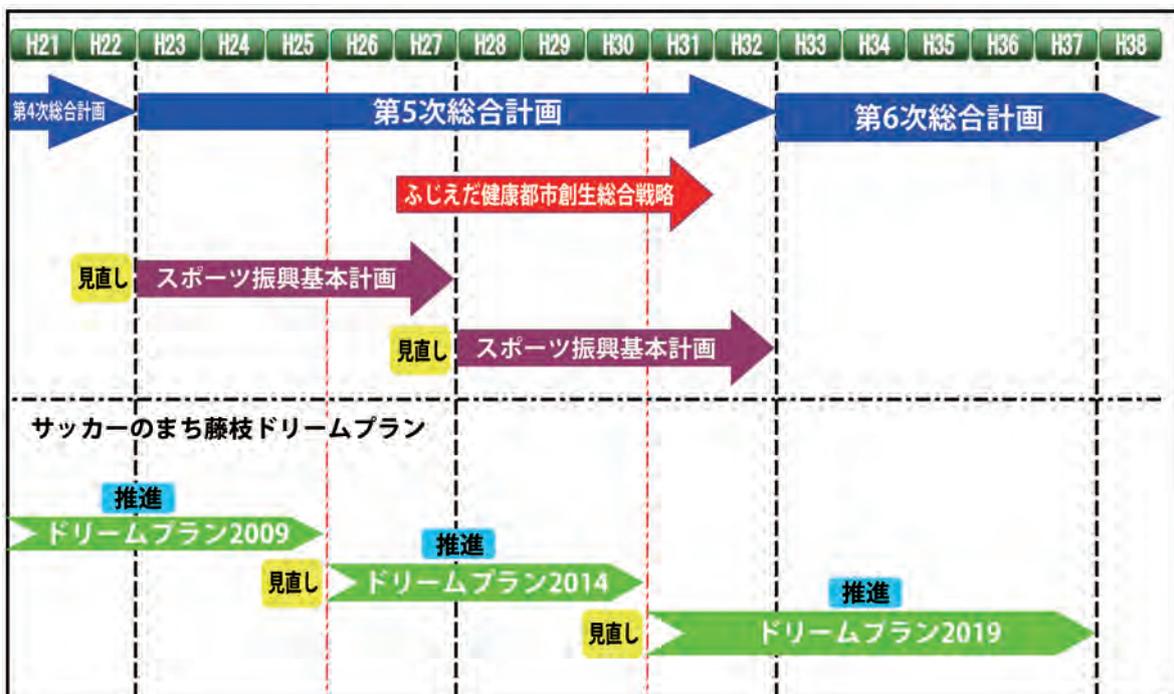
サッカー競技者を対象とした、サッカーの普及・振興のみを目的とするのではなく、市の個性のひとつとしてサッカーを位置づけ、商業、観光、教育など、あらゆる施策に「サッカー」を取り入れ、まちづくりの核としていくものです。

「藤枝市スポーツ推進計画」(平成28年3月策定)を含め、他の計画との整合を図りつつ、全ての計画を横断し、総合的な観点から柔軟性を持った計画の推進に努めます。



本計画の期間は、長期的ビジョンを持ちながらも、社会情勢の変動等に柔軟に対応し、また、本計画の上位計画となる藤枝市総合計画との整合を図るため、平成31年度から平成37年度までの7ヵ年とします。

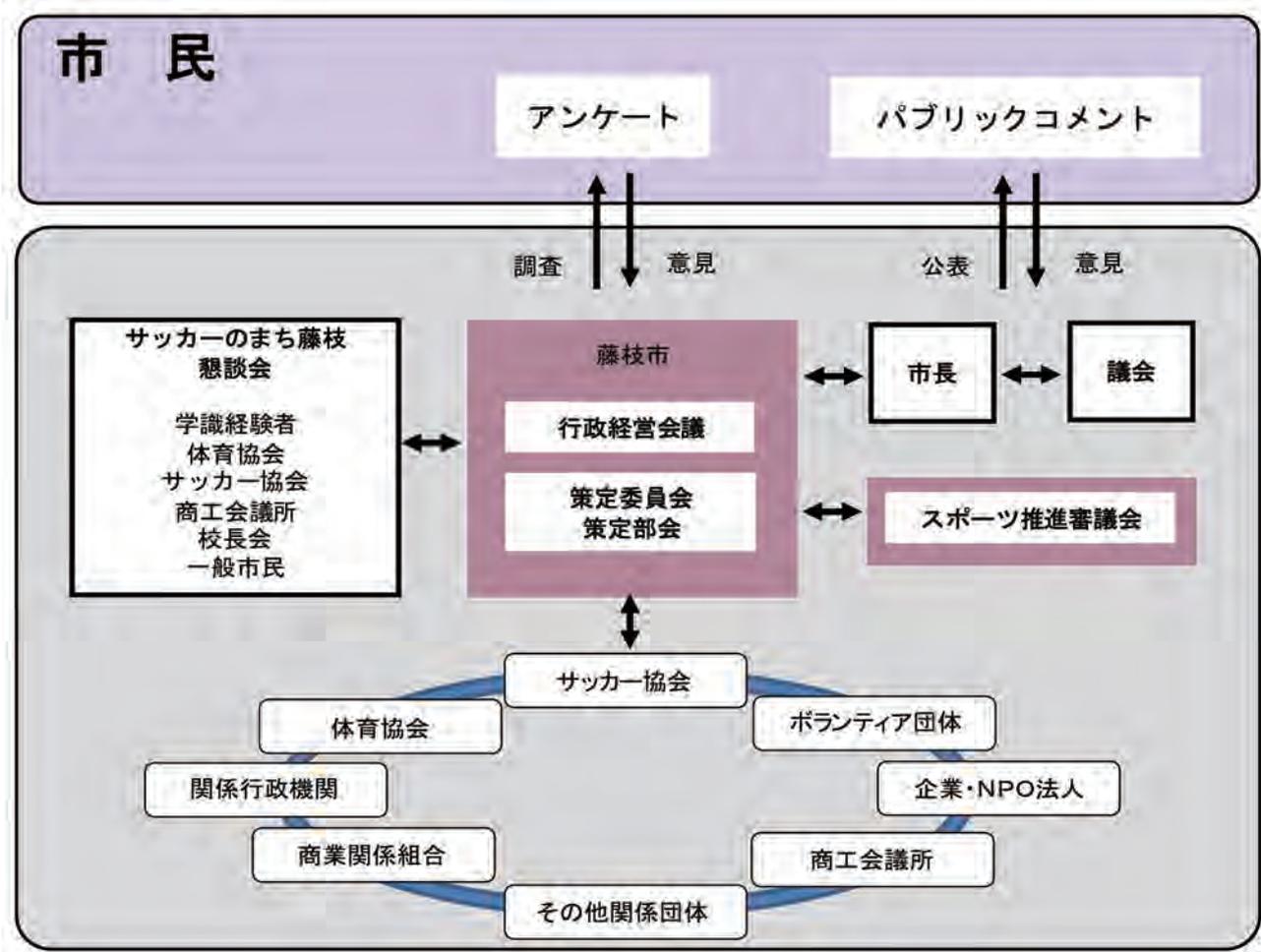
なお、施策の実施に際して適宜その進捗状況の把握を行い、必要に応じて見直しを行います。



計画策定においては、市民アンケートやパブリックコメントの実施、関係団体等からの多様な意見やアイデアを把握し、施策に反映できるように努めました。

まず、これまでの取り組みを判断する一つの視点として無作為抽出による市民アンケートを実施するとともに、各種施策の検証を行いました。

それを受けて、庁内機関各課を構成員とする策定委員会及び策定部会を設置し施策の見直しを行いました。策定過程においては、広く外部団体や市民の意見を吸い上げ、計画に反映させていくために、関係機関や一般市民で組織するサッカーのまち藤枝懇談会やスポーツ推進審議会を開催し、計画案の経過報告及び意見聴取を実施し、計画を策定しました。



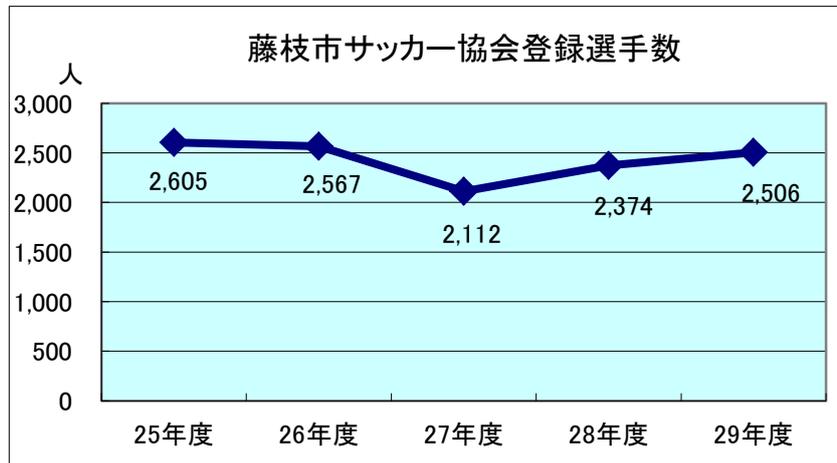
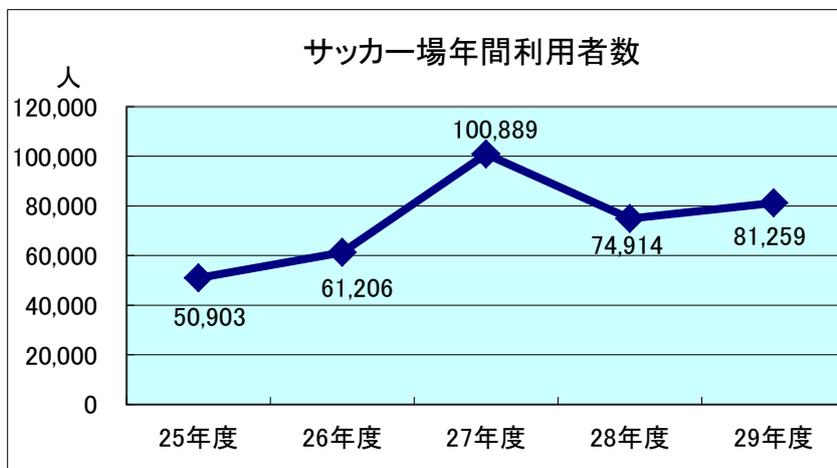
計画策定組織・体制の体系図

平成25年度に策定した「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2014」に基づき、平成26年度から平成30年度まで、より一層のサッカーの振興とともに、経済の活性化や青少年の健全育成、ふるさと意識の醸成、地域間・世代間交流など、サッカーを多様な観点から捉えた取り組みを行ってきました。

◆「する」環境づくり

誰もがサッカーに親しめる環境の整備促進と市民の多くにサッカー場を利用する機会の提供を目標として施策を展開してきました。

- ◇子どもからシニアまで、障害者の大会も含め様々な大会を誘致するなど、年間を通じて本市で大会が開催されるようになり、市内チームの参加拡大に繋がりました。
- ◇女子サッカーの活動推進として、地域おこし協力隊を活用した女子サッカーの環境づくりを推進するとともに、インターハイ女子サッカー競技を開催しました。
- ◇藤枝総合運動公園多目的広場の人工芝化を実施し、多くの市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境が整備されました。



◆「みる」環境づくり

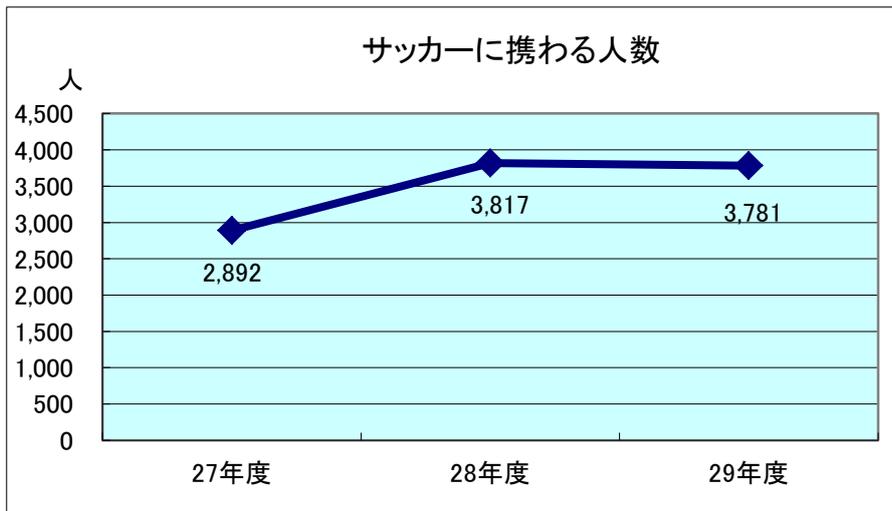
トップレベルのプレーをみる機会やみる施設としての環境整備を目標に施策を展開してきました。

- ◇誘致活動により、U-16サッカー男子日本代表のキャンプや皇后杯全日本女子サッカー選手権大会、全国シニアサッカー大会、SBSカップ国際ユースサッカー、インターハイ女子サッカー競技など年代別のトップレベルの試合が開催され、トップレベルのプレーを身近にみる機会が拡大されました。
- ◇W杯や藤枝順心高校の全国大会決勝戦などのパブリックビューイングを開催し、市民が本市ゆかりの選手やチームの活躍をみる事が出来る機会を創出しました。
- ◇市民グラウンドのスタンド改修など、各施設の維持修繕を行い、安全で安心して利用できる施設となりました。

◆「支える」環境づくり

藤枝のサッカーを支える環境整備や来訪者へのおもてなし環境整備を目標として施策を展開してきました。

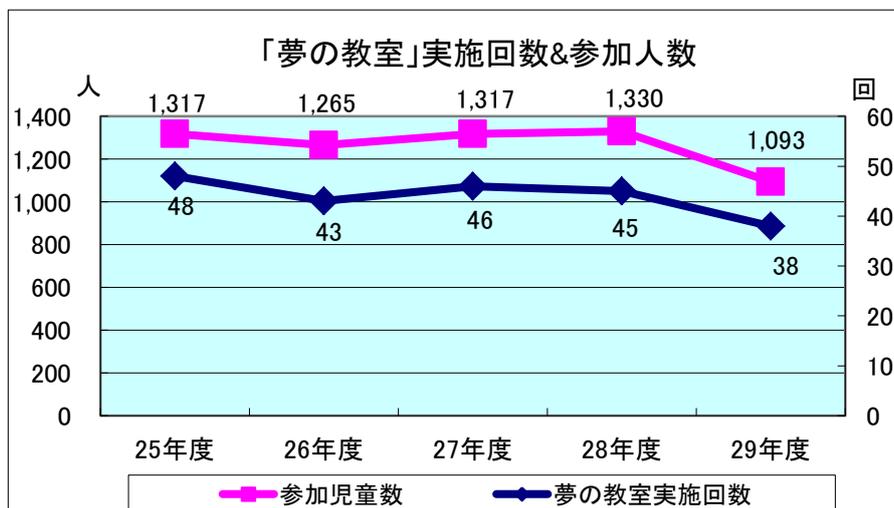
- ◇ 全国PK選手権大会をはじめ、全国シニアサッカー大会など様々なサッカー大会の開催に係る事業費への助成や日程調整などを行い、継続して開催されるように支援しました。
- ◇ 本市出身で日本代表キャプテンの長谷部誠選手の応援企画(横断幕や展示、パブリックビューイングなど)を実施し、市民一体となって、応援を行いました。
- ◇ 本市で行われる全国規模の大会開催時には、観光協会など関係機関と連携し特産品の販売やPRなど、来訪者へのおもてなしを実施しました。



◆「育てる」環境づくり

藤枝が誇れる人の育成やトップチームの育成・支援を目標に施策を展開してきました。

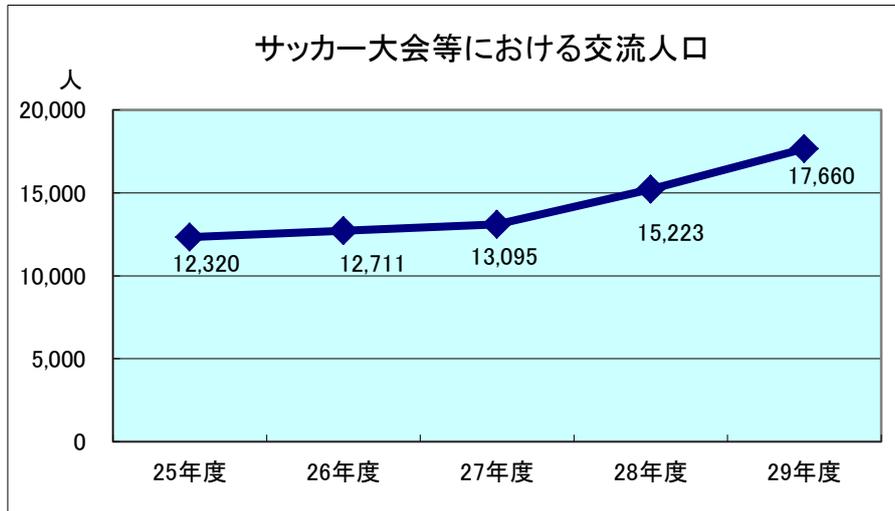
- ◇ 公益財団法人日本サッカー協会と連携したJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を開催し、様々な種目のトップアスリートによる実体験に基づく授業を行い、夢を持つことの大切さなどを子どもに伝え、藤枝が誇れる人の育成に努めました。
- ◇ 市サッカー協会と市が、目標を共有し、役割を明確にする中で、世界で活躍できる選手育成をめざした、トップアスリート育成事業を実施し、選手、指導者の育成を図りました。
- ◇ J3に参入した藤枝MYFCに対し、ホームゲームの会場調整や、試合情報等の発信などを行い、市民に愛される、地域に根ざしたチームとなるよう支援を行いました。



◆「交流する」環境づくり

国内外の人々と交流の輪を広げることや、世代間・地域間の結びつきを推進する施策を展開してきました。

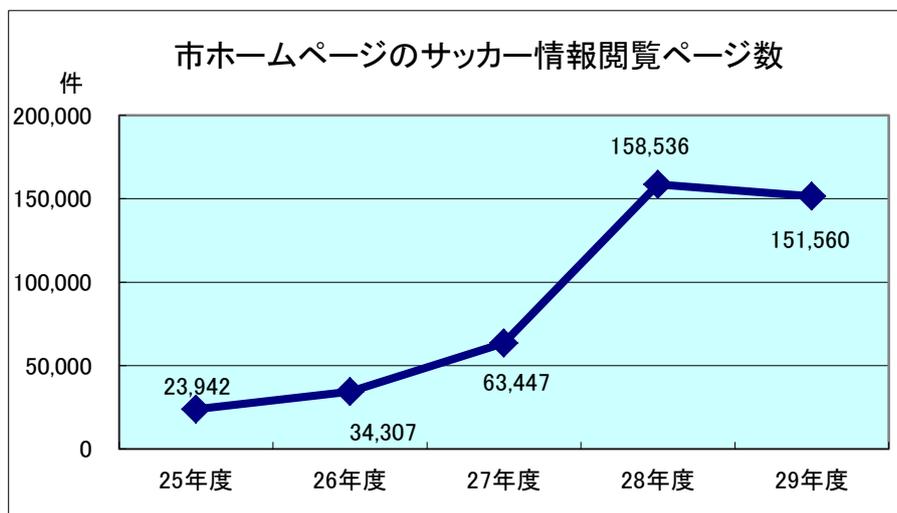
- ◇ 藤枝JC杯争奪全国少年サッカー大会や市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会における友好都市との交流をはじめ、全国PK選手権大会においては、姉妹都市の韓国楊州市チームを招待するなど、サッカーによる交流の拡大を図りました。
- ◇ 全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権を誘致、開催し、併せて他の障害者サッカーの啓発を行い、障害のある人とない人の交流機会を創出しました。



◆「発信する」環境づくり

サッカーのまち藤枝の歴史や大会等の情報を発信し、サッカーのまち藤枝を国内外にPRすることを目標に施策を展開してきました。

- ◇ 市ホームページ内にサッカー特設ページを開設し、試合情報や市内のチーム情報等を発信するとともに、長谷部誠選手をモデルとしたサッカーのまち藤枝PRポスターを作成し、市内で開催される全国規模の大会や試合の情報発信を行いました。
- ◇ 藤枝サッカー90年の節目にあたり、藤枝サッカー栄光の歩み展やシンポジウム等を開催し、市内外にサッカーのまち藤枝をPRしました。
- ◇ 藤枝市の玄関口である藤枝駅と藤枝総合運動公園サッカー場において、「サッカーのまちシテイドレッシング事業」を実施し、「蹴球都市」キービジュアルによるサッカーのまちの見える化を図りました。



平成25年度に策定した「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2014」に基づき、「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」の6つの環境づくりを進めるため、各種施策に取り組んできましたが、これまでの取り組みについて総括する中で、サッカーのまち藤枝懇談会からの意見やアンケート調査から以下の点が課題として挙げられます。

◆「する」環境づくり

◇全国規模の大会など様々な大会が行われている一方で、施設の利用が大会の参加者など一部の競技者に限られており、一般市民が大会以外で利用することが困難な状況にあります。また、女子や障害者など、サッカーをやりたいくてもする環境が限られているなど、ハード、ソフト両面において、より多くの人々がサッカーに親しむことができる環境整備が課題であります。

◆「みる」環境づくり

◇トップレベルの試合など様々な大会が行われている一方で、利用者はサッカー場までの経路がわかりづらい、駐車場が少ないなどの不便さを感じている。また、サッカー以外での施設の多目的利用が少ないため、サッカーをする人もしない人も誰もが訪れやすい環境整備が課題であります。

◆「支える」環境づくり

◇様々な大会が本市で行われる中で、選手をはじめ、応援に来た人も喜んでもらえるような、市民や各種団体等が連携したおもてなし体制を充実する必要があります。また、Jリーグに所属する藤枝MYFCが、市民に愛される地域に根ざしたチームとなるよう支援していくことが求められています。

◆「育てる」環境づくり

◇夢の教室の更なる充実を図り、自立心と社会性に富んだ元気で魅力的な藤枝の子どもを育成するとともに、世界の舞台で活躍できるサッカー選手の輩出が求められています。

◆「交流する」環境づくり

◇サッカー大会や全国PK選手権大会を通して、友好都市や姉妹都市などとの都市間交流が積極的に行われている一方、サッカーを観光資源として活用した施策や、新しいイベントなどによる、世代間・地域間の交流の拡大が課題であります。

◆「発信する」環境づくり

◇様々な機会を捉えて「サッカーのまち藤枝」を国内外に発信してきましたが、シティプロモーションとして、効果的で魅力ある情報発信の更なる充実が求められています。また、「蹴球都市」の更なる活用によるシティプロモーションが求められています。

(1) 基本理念

～歴史・誇り・夢あふれる「蹴球都市ふじえだ」～

藤枝のサッカーの歴史と誇りを次世代に引き継ぎ、子どもたちが夢を抱き、それが新たな歴史となることで、本市のサッカー文化が醸成されてきました。

基本理念では、本市サッカーにおける歴史に敬意と誇りを持ちつつ、未来に向けた夢や希望を抱き、単なる「サッカーのまち」ではなく、サッカーにおける長い歴史に支えられた「蹴球都市」を宣言し、次の100年に向けた歩みを進めていく決意を表しています。

めまぐるしく環境が変化する時代の中で、これまでの本市のサッカー文化を形成してきた「歴史」と「誇り」そして「夢」をキーワードに、このようなサイクルをさらに推進し、子どもからシニアまですべての人が、歴史・誇り・夢あふれる「蹴球都市ふじえだ」を実感できる施策を展開します。



(2) 施策展開の3つの視点

各種施策の展開においては、以下の3つに視点を置き、能動的に取り組みます。

●個性あるまちづくり

サッカーを核としたまちづくりとして、サッカーの普及・振興のみを求めるのではなく、商業、観光、教育など多様な観点から施策の展開に努めます。

「サッカーのまち」をPRする他の自治体等の追随ではなく、「蹴球都市」を宣言し、歴史と文化を財産とした藤枝独自の環境づくりに努めます。

●情報発信とサッカー文化の醸成

「サッカーのまち」として展開してきた数々の先駆的な取り組みや、これまでに築き上げてきた輝かしい歴史をシテプロモーションとして国内外に発信し、PRを強化することで、藤枝のサッカー文化の醸成を図ります。

●本市固有の財産・資源の活用

JR東海道本線・新幹線、東名高速道路、新東名高速道路といった日本の大動脈が横断し、近接する富士山静岡空港へのアクセスが充実しているなど、広域アクセスの優位性や温暖な気候とともに、これまで築き上げてきた輝かしい歴史、優れた人材、組織、施設など、本市固有の貴重な財産を有機的に結びつけながら、夢のある施策展開を目指します。

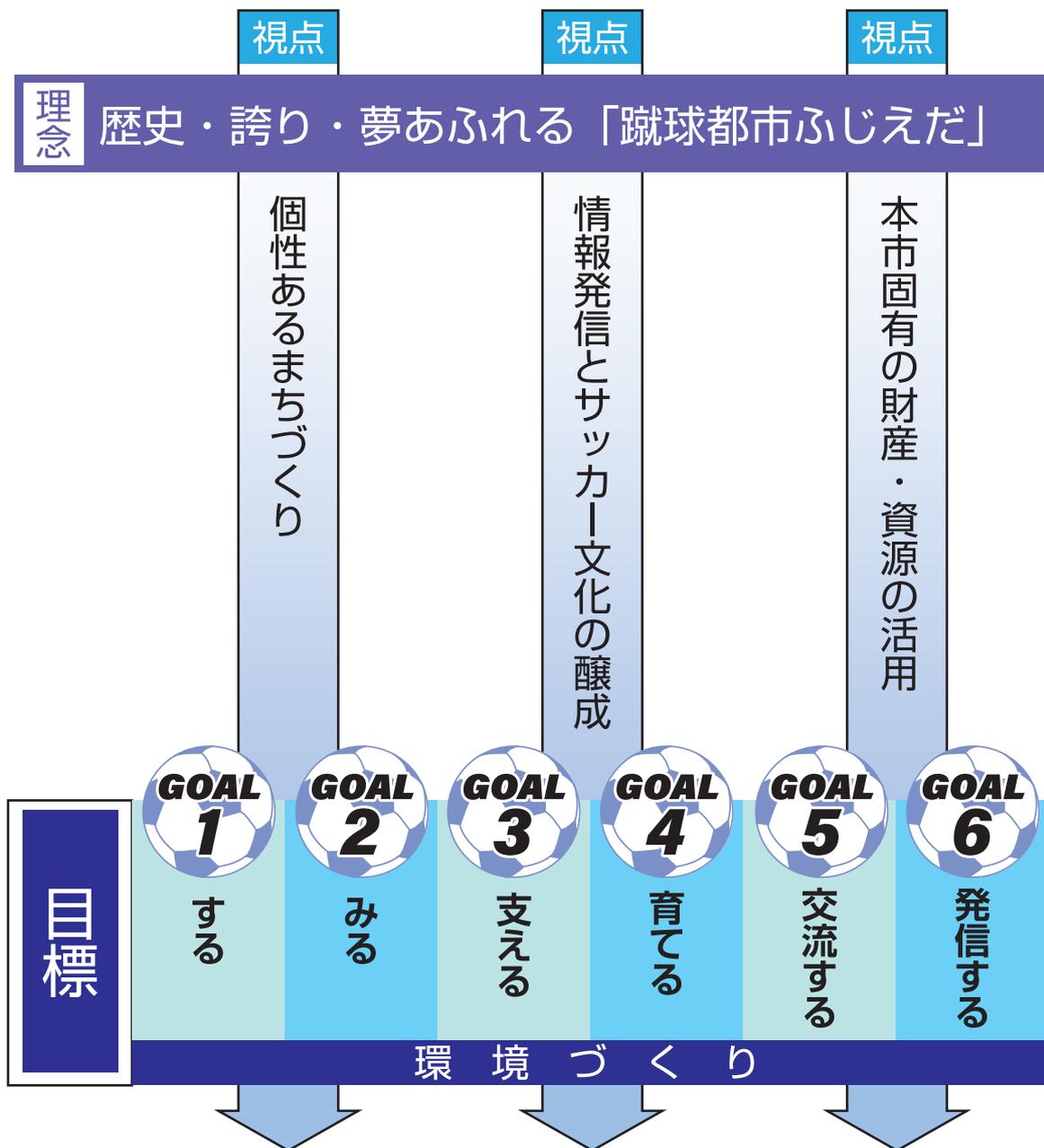
(3) 施策展開の6つの目標

「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」

本計画の推進により、市のイメージアップを図るほか、地域経済の活性化、青少年の健全育成、ふるさと意識・郷土愛の醸成や市民の市政参画意識の向上、健康増進、都市間・世代間交流の促進を図ります。

その手段として、『する』、『みる』、『支える』、『育てる』、『交流する』、『発信する』の6つの環境づくりを推進目標として施策を展開します。

施策の展開においては、市民、企業、学校や関係団体と連携を図りながら、まち全体で推進していきます。



(4) 計画の基本目標



『 する 』 環境づくり

年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もがライフスタイルやライフステージにあわせてサッカーに親しむことができる環境づくりを推進します。

また、総合運動公園が蹴球都市のシンボルとして、世界へ向けて羽ばたく子どもたちの拠点施設となるよう整備するとともに、学校、公園等の芝生化に努めます。



『 みる 』 環境づくり

スポーツは「する」楽しさとあわせて、「みる」楽しさもあります。また、子どもたちは、身近に憧れの選手を「みる」ことで、技術を習得したり、夢や目標を持つことに繋がります。

トップレベル・全国レベルの試合の開催や、各年代の日本代表等、トップチームの合宿の誘致など、競技者や指導者だけでなく、多くの市民が一流のプレーを身近に「みる」ことができる機会を積極的につくります。



『 支える 』 環境づくり

Jリーグに所属する藤枝MYFCに対し、市民に愛され、地域に根差したチームとなるよう支援するとともに、各年代のチームや本市ゆかりのサッカー選手を応援します。

藤枝MYFCをはじめとした市内チームや本市ゆかりのサッカー選手の活躍は、市民に夢や希望を与え、誇りや郷土愛を醸成します。横断幕等の設置や、市民への積極的な情報提供を行うなど、支援、応援体制の充実を図ります。

また、商業・観光業界をはじめ、関係団体と連携し、サッカーを通して国内外から集まる来訪者に対して、おもてなしの体制づくりに努めます。



『 育てる 』 環境づくり

トップアスリートなどによる講演会や学校での授業を通じて、青少年の健全育成や夢を持つことの大切さを伝えるとともに、思いやりの心を育み、藤枝が誇れる人を育てます。

また、選手や指導者等の育成環境の充実を図り、世界の舞台で活躍できるサッカー選手の輩出を目指します。



『 交流する 』 環境づくり

富士山静岡空港や新東名高速道路等を活用し、国内外の姉妹都市・友好都市をはじめ、様々な地域のチームとの交流を促進します。

また、サッカーを観光資源と捉えたサッカーツアーを実施するとともに、試合や応援で本市を訪れた来訪者が市内を周遊できる観光メニューを開発し、交流人口の拡大を図ります。



『 発信する 』 環境づくり

藤枝サッカーの始まりから100年の節目を迎えるにあたり、本市のサッカー文化を紹介する企画展や100周年記念サッカー大会やイベントの開催等、これまでの100年を振り返り、次の100年に向けた取り組みを市全体で実施し、市内外に「蹴球都市ふじえだ」を発信します。

また、商標登録を取得した「蹴球都市」キービジュアルを各課における取り組みに活用するとともに、民間利用を促進し、本市のシティプロモーションを図ります。

* 藤枝サッカーのはじまり …… 大正13年(1924年)に静岡県立志太中学校(現藤枝東高校)が開校し、蹴球(サッカー)が校技として定められたことから藤枝サッカーが始まった。

基本
理念

歴史・誇り・夢あふれる

「蹴球都市ふじえだ」



GOAL 基本目標

MISSION 施策の展開



する
環境づくり

世界に向けて羽ばたく子どもたちの拠点施設をつくろう
誰もがサッカーに親しめる環境をつくろう

総合運動公園の機能充実
キッズ、女性、シニアや障害のある人のサッカーの普及の促進



みる
環境づくり

トップレベルのプレーをみる環境をつくろう

トップレベル・全国レベルの試合等の開催
各年代男女サッカー日本代表・リーグチーム等の合宿誘致



支える
環境づくり

藤枝のサッカーを支えよう
来訪者を歓迎しよう

藤枝MYFCの支援
藤枝市ゆかりのサッカー選手や市内チームの応援体制の充実
来訪者に対するおもてなしの促進



育てる
環境づくり

藤枝が誇れる人を育てよう

誇りと夢あふれるひとづくりの推進
選手、指導者等の育成環境の充実



交流する
環境づくり

国内外の様々な人と交流の輪を広げよう
世代間、地域間の結びつきを強めよう

サッカーを通じた都市交流の促進
世代間・地域間交流の促進



発信する
環境づくり

藤枝のサッカー情報を発信しよう
蹴球都市ふじえだをPRしよう

藤枝サッカー100年の情報発信強化
蹴球都市ふじえだを感じる街並み演出によるPR
サッカーにちなんだ商品開発などによるPR



『する』環境づくり

年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もがライフスタイルやライフステージにあわせてサッカーに親しむことができる環境づくりを推進します。

また、総合運動公園が蹴球都市のシンボルとして、世界へ向けて羽ばたく子どもたちの拠点施設となるよう整備するとともに、学校、公園等の芝生化に努めます。

<p>【GOAL】基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 世界に向けて羽ばたく子どもたちの拠点施設をつくろう ◇ 誰もがサッカーに親しめる環境をつくろう 	<p>【MISSION】施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 総合運動公園の機能充実 ◆ キッズ、女性、シニアや障害のある人のサッカーの普及の促進
---	--

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	シニアサッカー大会の誘致、開催事業	(公財)日本サッカー協会など関係団体に対し積極的な大会誘致を行い、シニア世代の交流と宿泊、飲食等による地域活性化を図るため、継続開催を目指します。	開催地枠を利用した市民選手の出場機会が創出されます。大会を通じた市民交流と地域経済の活性化を図ります。
2	障害者サッカー普及事業	全国的障害特別支援学校高等部サッカー選手権を継続して誘致します。また、共生社会普及啓発イベントにおいて、障害のある人にサッカーに触れてもらうとともに、障害者サッカーの普及啓発を行います。	第5次藤の里障害者プランに掲げる「笑顔で自分らしく暮らす共生社会の実現」を目指します。障害のある人がサッカーを楽しむ機会の拡大を図ります。
3	女子サッカー普及事業	サッカーを通じた「女性が輝くまち」の実現を目指し、地域おこし協力隊を活用し、女性がサッカーをする場の創出やイベントの開催、市内女子チームの紹介、皇后杯の開催誘致を行います。また、女子サッカー選手の雇用環境の充実を図ります。	女性がサッカーをする環境づくりを推進し、女子サッカー人口を拡大します。女子サッカートップチームの育成を目指します。
4	キッズサッカー普及事業	未就学児の運動機会を創出するとともに、巡回教室や市サッカー協会との連携によるキッズサッカー大会を開催します。	子どものスポーツへの興味を喚起し、体力向上を図ります。サッカーの楽しさを体感することで、サッカー競技人口の増加を図ります。
5	市民が気軽に参加できるサッカーイベント開催事業	毎年開催している全国PK選手権大会の更なる充実を図るとともに、2024年には藤枝サッカー100年を記念するサッカーイベントを開催します。	誰もがサッカーに親しむことができる環境を目指します。イベントを通じた地域間、世代間の交流の拡大を目指します。
6	グラウンド等の芝生化事業の推進	(公財)日本サッカー協会が行う、「ポット苗芝生化モデル事業」などを活用したグラウンド等の芝生化を推進します。併せて、総合運動公園や市民グラウンドにおいて、グラウンドの無料開放等を実施し、芝生グラウンドの良さを体験し、芝生化への機運を高めます。	子どもが安全に運動する機会の増加を目指します。学校と地域が連携して芝生の管理を行うことで、地域全体で学校を支援する体制の構築が図られます。
7	【新規】総合運動公園再整備事業	蹴球都市ふじえだのシンボルとして、世界へ向けて羽ばたく子供たちの拠点施設となるよう整備を行います。	蹴球都市ふじえだのシンボルである施設を再整備することで、より上位の試合、大会の誘致が可能となり、子どもたちが夢や希望を持つきっかけになります。
8	【新規】サッカーを通じた健康増進事業	年齢、性別、体力の有無に関わらず、誰もが楽しめる「ウォーキングサッカー」や「サッカーゴルフ」の普及を図るとともに、サッカーの動きを取り入れたエクササイズ等を考案するなど、サッカーを通じた市民の健康増進を進めます。	サッカーに親しむ機会の創出により、市民の健康増進を進めます。年齢、性別、体力の有無に関わらず、誰もがサッカーを楽しめる機会を創出します。
9	【新規】eスポーツ普及事業	サッカーゲームの「ウィニングイレブン」が、eスポーツ競技として2018アジア大会のデモンストレーション競技に採用され、オリンピックでの競技化も検討されていることから、蹴球都市ふじえだの新たな魅力創出のため、eスポーツのプレイ環境の整備と競技の普及を図ります。	蹴球都市ふじえだの新たな魅力創出が図られます。若い世代のサッカーへの関心を高めます。



『みる』環境づくり

スポーツは「する」楽しさとあわせて、「みる」楽しさもあります。また、子どもたちは、身近に憧れの選手を「みる」ことで、技術を習得したり、夢や目標を持つことに繋がります。

トップレベル・全国レベルの試合の開催や、各年代の日本代表等、トップチームの合宿の誘致など、競技者や指導者だけでなく、多くの市民が一流のプレーを身近に「みる」ことができる機会を積極的につくります。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
◇ トップレベルのプレーをみる環境をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ◆ トップレベル・全国レベルの試合等の開催 ◆ 各年代男女サッカー日本代表・Jリーグチーム等の合宿誘致

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	トップレベル・全国レベルの試合等誘致、開催事業	各世代の全国大会や国際大会を積極的に誘致し、開催します。	トップレベルのチーム、選手が出場する試合を間近に見ることで、子どもたちは、技術を習得したり、夢や希望を抱きます。また、大会出場チームやそのサポーター等の来訪人口拡大と地域経済の活性化を図ります。
2	トップレベルチームのキャンプ誘致事業	各年代の男女日本代表やJリーグ、なでしこリーグチームの合宿誘致を行います。また、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたサッカー競技の事前合宿誘致を行います。キャンプ実施の際には、本市の子どもたちとの交流機会を創出します。	トップレベルの選手のプレーを間近に見ることで、子どもたちは、技術を習得したり、夢や希望を抱きます。また、キャンプ実施により、「蹴球都市ふじえた」を国内外に発信します。
3	総合運動公園サッカー場の多目的利用の促進事業	施設見学ツアーや施設内のサッカー展示コーナーの充実、各種イベントの開催等、施設の多目的利用を図ります。	誰もが、いつでも気軽に施設を訪れ、楽しめる魅力ある施設づくりに努め、施設来場者の増加を目指します。
4	【新規】サッカー視聴環境整備事業	市民会館、地区交流センター等の公共施設においてインターネット配信等によるサッカー中継を視聴できる環境を整え、サッカーを気軽に見ることができる環境を整えます。	子どもたちが気軽に世界中のサッカーを見ることができ、選手育成に寄与します。地区交流センター等の施設利用者の増加を図るとともに、サッカー視聴を通じた世代間の交流を目指します。



藤枝なでしこデー2018



ワールドカップパブリックビューイング



『支える』環境づくり

Jリーグに所属する藤枝MYFCに対し、市民に愛され、地域に根差したチームとなるよう支援するとともに、各年代のチームや本市ゆかりのサッカー選手を応援します。

藤枝MYFCをはじめとした市内チームや本市ゆかりのサッカー選手の活躍は、市民に夢や希望を与え、誇りや郷土愛を醸成します。横断幕等の設置や、市民への積極的な情報提供を行うなど、支援、応援体制の充実を図ります。

また、商業・観光業界をはじめ、関係団体と連携し、サッカーを通して国内外から集まる来訪者に対して、おもてなしの体制づくりに努めます。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 藤枝のサッカーを支えよう ◇ 来訪者を歓迎しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 藤枝MYFCの支援 ◆ 藤枝市ゆかりのサッカー選手や市内チームの応援体制の充実 ◆ 来訪者に対するおもてなしの促進

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	各種サッカー大会支援事業	市内で開催される各年代の大会が継続して円滑に開催されるよう、会場確保や大会運営支援を行い、出場選手や大会を支える環境を整備します。	円滑な大会運営と選手の育成を目指します。市内での継続開催による蹴球都市ふじえだのPRにつなげます。来訪者の拡大と地域経済の活性化を図ります。
2	藤枝市ゆかりのサッカー選手応援事業	国内外で活躍する藤枝市ゆかりの選手や市内チームを応援するため、のぼり旗や横断幕を設置したり、市民への選手の情報提供を行い、市全体で応援する体制の充実を図ります。また、特に顕著な成績を収めたものを表彰します。	藤枝市ゆかりの選手が活躍することにより、市民に夢や希望を与え、同郷としての誇りを醸成します。市民の応援は、選手の励みとなり更なる活躍が期待できます。
3	各種サッカー大会おもてなし環境整備事業	各種大会開催期間中に、商店街や駅周辺などに歓迎旗や歓迎ポップの設置や、試合会場内での市の特産品の販売などを行い、市民一体となって大会を盛り上げる体制を整備します。	大会に出場する選手や応援に訪れる来訪者が「また来たい」「藤枝に来てよかった」と感じるおもてなしを目指します。併せて、地域経済の活性化を目指します。
4	市民から愛されるトップチーム支援事業	Jリーグに所属する「藤枝MYFC」に対し、クラブのPRや試合告知、市民との交流機会の創出等を行い、市民に愛される、地域に根差したチームとなるよう支援するとともに、上位リーグ昇格への機運を高めます。	市全体で応援することで一体感が醸成されます。チームが活躍することで、誇りや郷土愛が育まれます。
5	【新規】Fボラマイタウンチーム応援事業	藤枝ボランティア（Fボラ）において、藤枝MYFC（J3）をはじめとした本市チームの試合運営等でボランティアとして支援するサポーターを募集します。	市内チームに関わることで、サポーターとして応援するきっかけとなります。



2019J3リーグ 藤枝MYFC開幕戦



長谷部選手 応援メッセージ



『育てる』環境づくり

トップアスリートなどによる講演会や学校での授業を通じて、青少年の健全育成や夢を持つことの大切さを伝えるとともに、思いやりの心を育み、藤枝が誇れる人を育てます。

また、選手や指導者等の育成環境の充実を図り、世界の舞台で活躍できるサッカー選手の輩出を目指します。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
◇ 藤枝が誇れる人を育てよう	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 誇りと夢あふれるひとづくりの推進 ◆ 選手、指導者等の育成環境の充実

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	「夢の教室」開催事業	日本サッカー協会と連携し、市内全小学校において、原則5年生を対象に、トップアスリートを特別講師「夢先生」として特別授業「夢の教室」を開催します。授業では、「夢を持つこと」、「仲間と協力すること」などの大切さを、夢先生の実体験に基づき子どもたちに伝えます。また、中学年代への拡充について検討します。	「夢を持って努力すること」、「相手を思いやること」、「仲間と協力すること」の大切さを伝え、自立心と社会性に富んだ、元気で魅力的な藤枝の子どもを育成します。
2	蹴球都市トップアスリート育成事業	世界で活躍する選手の輩出を目指し、市サッカー協会と行政が目標を共有するとともに、役割を明確化し、選手や指導者の育成や保護者への啓発に取り組みます。	将来、世界の舞台で活躍できるサッカー選手を輩出します。本市出身選手の活躍によりシティプロモーションに寄与します。
3	【新規】指導者ライセンス取得支援事業	指導者ライセンス取得を目指す指導者に対し、取得に係る費用の一部を助成し、ライセンス取得を促進します。	より上位のライセンスを取得することで、指導者全体の質が向上し、選手育成に寄与するとともに、Jリーグ等で活躍する指導者が輩出されます。



蹴球都市トップアスリート育成事業



JFAこころのプロジェクト「夢の教室」



『交流する』環境づくり

富士山静岡空港や新東名高速道路等を活用し、国内外の姉妹都市・友好都市をはじめ、様々な地域のチームとの交流を促進します。

また、サッカーを観光資源と捉えたサッカーツアーを実施するとともに、試合や応援で本市を訪れた来訪者が市内を周遊できる観光メニューを開発し、交流人口の拡大を図ります。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国内外の様々な人と交流の輪を広げよう ◇ 世代間、地域間の結びつきを強めよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ サッカーを通じた都市交流の促進 ◆ 世代間・地域間交流の促進

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	藤枝サッカーツアー開催事業	サッカーを観光資源とした、市内を巡る藤枝サッカーツアーの充実を図り、来訪者の拡大と交流の拡大を図ります。また、試合や応援で本市を訪れた来訪者が、空き時間に市内を周遊できる観光メニューの開発を行います。	来訪者の拡大と交流の拡大を目指します。本市固有のサッカー資源（人材、歴史、施設など）を活用し、国内外に蹴球都市ふじえだをPRします。
2	サッカー場を起点とした市民参加事業の開催	サッカー場を会場に健康イベントを開催し、市民の健康増進と交流の拡大を図ります。また、ウォーキングコースにサッカー場を起点としたコースを加えるなど、市民がサッカーに親しむ機会を充実します。	市民の健康増進と交流の拡大を目指します。サッカーに親しむ機会を創出し、蹴球都市ふじえだをPRします。
3	日本サッカーを応援する自治体連盟連携事業	本市が加盟する「日本サッカーを応援する自治体連盟」と連携し、各種イベント等に参加することで、加盟市町村との人脈構築や市民との交流機会の創出を図ります。	取り組みに参加する中で、加盟市町村との人脈構築を図り、同じ思いを持つ自治体同士が連携し、各種イベントの開催等を通じた市民交流を目指します。
4	サッカーを通じた都市交流促進事業	本市で開催されるサッカー大会やイベントに姉妹都市や友好都市チームに参加していただき、また、姉妹都市や友好都市でのサッカー大会等に本市チームが参加することで交流を図ります。	サッカーを通じた市民レベルの交流の拡大を目指します。来訪者の拡大と地域経済の活性化を図ります。
5	【新規】駅前サッカーフェス開催事業	JR藤枝駅北口広場・南口広場において、プロ選手のトークショーや、ミニゲーム、パブリックビューイングなどのサッカーイベントを開催し、市民の交流を図ります。	サッカーを通じた交流が図られるとともに、中心市街地の活性化に寄与します。

日本サッカーを応援する自治体連盟

サッカーの普及、振興とサッカーを通じたまちづくりの推進を図ることを目的に、(公財)日本サッカー協会と本市を含めた目的に賛同した自治体が加盟する組織
(平成25年11月設立:415自治体が加盟(平成30年3月31日時点))



楊州市サッカー協会チーム 全国PK選手権大会出場



小学生選抜チームによる恵庭市遠征



『発信する』環境づくり

藤枝サッカーの始まりから100年の節目を迎えるにあたり、本市のサッカー文化を紹介する企画展や100周年記念サッカー大会やイベントの開催等、これまでの100年を振り返り、次の100年に向けた取り組みを市全体で実施し、市内外に「蹴球都市ふじえだ」を発信します。

また、商標登録を取得した「蹴球都市」キービジュアルを各課における取り組みに活用するとともに、民間利用を促進し、本市のシティプロモーションを図ります。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 藤枝のサッカー情報を発信しよう ◇ 蹴球都市ふじえだをPRしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 藤枝サッカー100年の情報発信強化 ◆ 蹴球都市ふじえだを感じる街並み演出によるPR ◆ サッカーにちなんだ商品開発等によるPR

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	「蹴球都市ふじえだ」情報発信事業	市ホームページの特設サイトにおいて、本市の文化であるサッカーに関する情報を総合的に発信します。	蹴球都市ふじえだをPRすることで、本市の更なるイメージアップを図り、来訪・交流人口の拡大を図ります。
2	【新規】藤枝サッカー100年の歩み事業	2024年に藤枝サッカーの始まりから100年の節目を迎えるにあたり、本市のサッカー文化を紹介する企画展や100周年記念サッカー大会やイベントの開催等、これまでの100年を振り返り、次の100年に向けた取り組みを市全体で実施し、市内外に「蹴球都市ふじえだ」を発信します。	企画展やイベントを開催することで、来訪者の拡大を目指します。市民のサッカーへの関心が高まり、次の100年に向け「蹴球都市ふじえだ」を誇りに感じられる施策に取り組みます。
3	「蹴球都市ふじえだ」街並み演出事業	藤枝市の玄関口であるJR藤枝駅周辺（南北自由通路、駅北口広場、駅南口広場等）において、サッカーのまちを感じられる街並みを演出します。また、マンホール蓋や街路灯など、市内の至る所に点在するものをサッカーにちなんだデザインにすることで、市内外へ「蹴球都市ふじえだ」をPRします。	藤枝駅に降り立った瞬間に「蹴球都市ふじえだ」を感じることができる環境を整備します。話題性を創出し、来訪者の回遊性を持たせ、交流人口の拡大を目指します。市民のサッカーへの関心が高まり、「蹴球都市ふじえだ」を誇りに感じられる演出を目指します。
4	サッカーにちなんだ商品等を活用したPR事業	産学官連携によるサッカーに関連した新たな商品開発を図るとともに、それらの商品の販路拡大、商品PRを積極的に行い、「蹴球都市ふじえだ」を国内外にPRします。また、お茶などの本市特産品のパッケージ等に「蹴球都市」のロゴマークを取り入れるなど、サッカーを絡めた特産品のPRに努めます。	話題性を創出し、地域経済の活性化を目指します。「蹴球都市ふじえだ」を誇りに感じられる商品開発を促進します。
5	「蹴球都市」を活用したシティプロモーション事業	「蹴球都市」キービジュアル等を、各課における取組に活用し、本市のシティプロモーションを図ります。併せて、民間利用の促進を図ります。	「蹴球都市」キービジュアル等を民間利用も含めて広めることで、「蹴球都市ふじえだ」をPRします。

藤枝サッカーの始まり

大正13年(1924年)に静岡県立志太中学校(現藤枝東高校)が開校し、蹴球(サッカー)が校技として定められたことから藤枝サッカーが始まった。

◆「蹴球都市」の活用例 ロゴを活用した名刺(変形デザイン)やシール、缶バッジやピンバッジなど



第4章 計画の推進

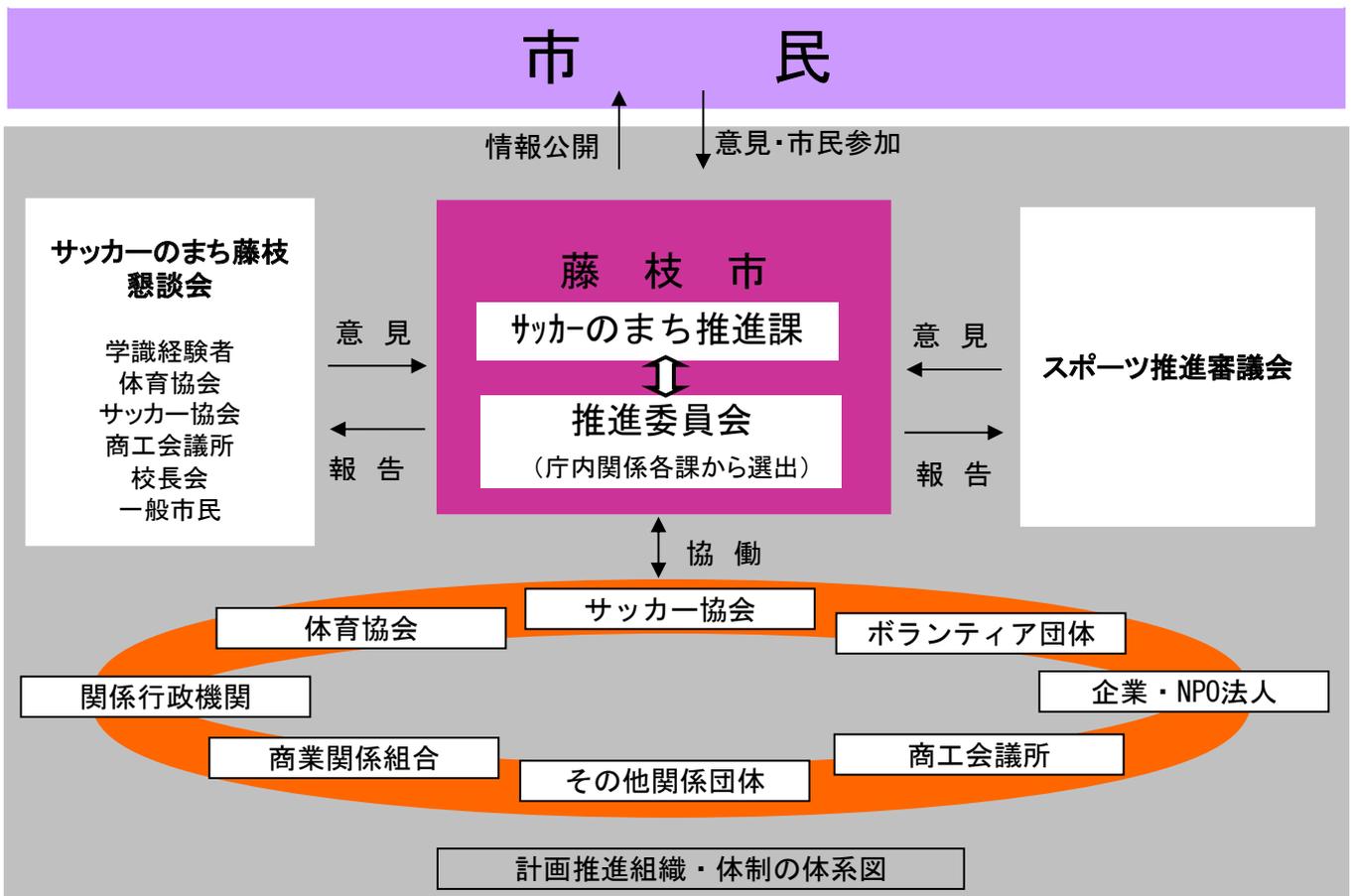
1 計画の進捗状況の管理・評価

計画を着実に推進し、管理・評価するために、サッカーのまち藤枝懇談会及びスポーツ推進審議会に進捗状況を報告し、意見を求めます。

また、庁内関係各課から選出された委員で構成する庁内推進委員会を設置し、年度ごとに計画の進捗状況を把握し、施策の評価及び見直しを行い、円滑な推進に努めます。

2 関係団体等との協働

計画を推進するためには、市民及び藤枝市サッカー協会をはじめとする多くの関係団体の協力が不可欠です。それらの関係団体等と協働し、計画の着実な推進に取り組みます。



3 第5次藤枝市総合計画(後期計画)に位置づけた成果指標

※ () 内は実績値

	成果指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	サッカー場の年間利用者数	67,000人 (74,914人)	70,000人 (81,259人)	74,000人	78,000人	82,000人
2	サッカー大会等における年間交流人口	13,400人 (15,223人)	13,800人 (17,660人)	14,300人	14,700人	15,000人
3	サッカーに携わる人数	3,000人 (3,817人)	3,050人 (3,781人)	3,070人	3,100人	3,200人
4	女子サッカーの競技人数	290人 (232人)	310人 (223人)	330人	350人	370人
5	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンター年間輩出人数	3人 (6人)	3人 (8人)	4人	5人	5人
6	市ホームページのサッカー情報年間閲覧ページ数	39,000 ^{ページ} (158,536 ^{ページ})	42,000 ^{ページ} (151,560 ^{ページ})	44,000 ^{ページ}	48,000 ^{ページ}	51,000 ^{ページ}

參考資料

【実施概要】

実施期間

平成30年5月24日にアンケート書類を発送し、平成30年6月8日を回答期限とした(16日間)

対象者

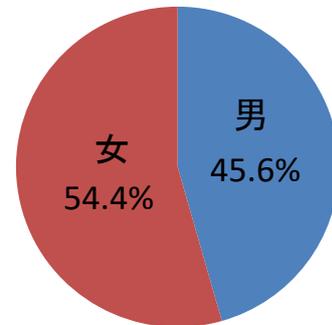
住民基本台帳より無作為抽出1,000名
15歳以上の日本人、年齢・性別による層化抽出・同一世帯で1名のみ

実施方法 郵送による配布、回収

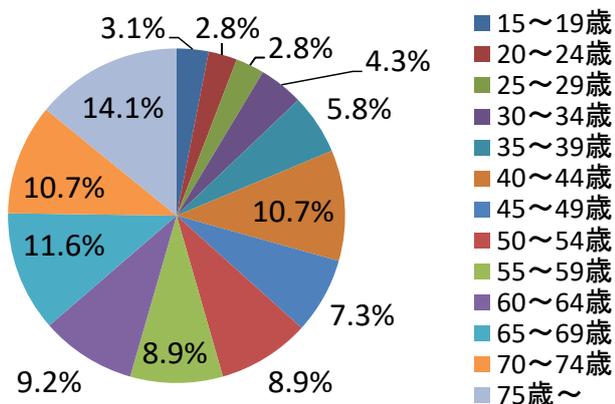
回答数 327名

〈回答者の属性〉

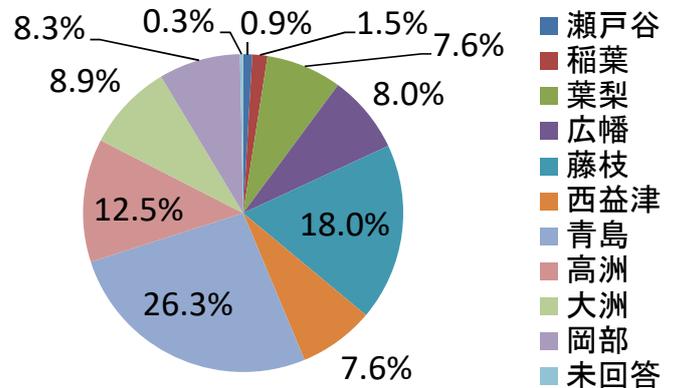
Q1 あなたの性別は



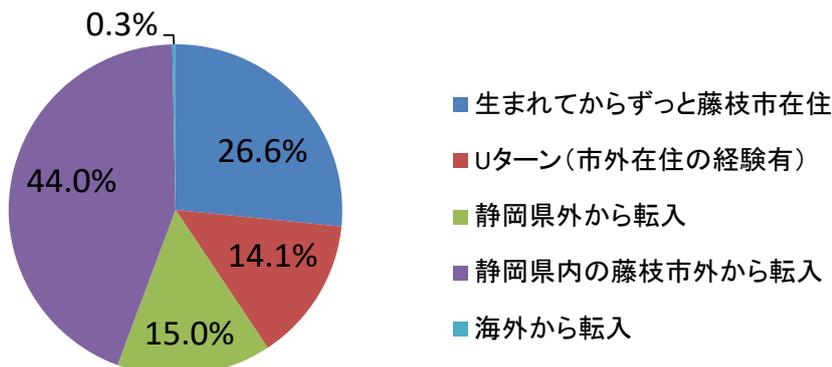
Q2 あなたの年齢は



Q3 あなたのお住まいの地区は

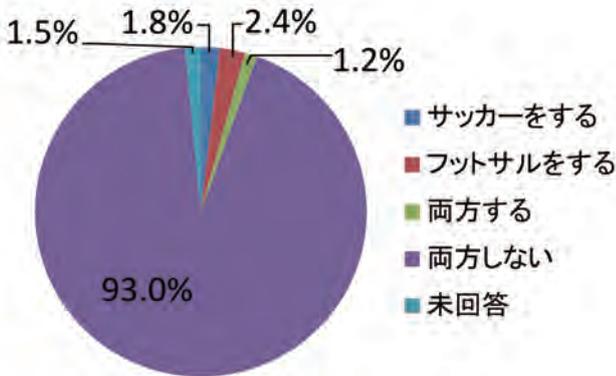


Q4 あなたのご出身は

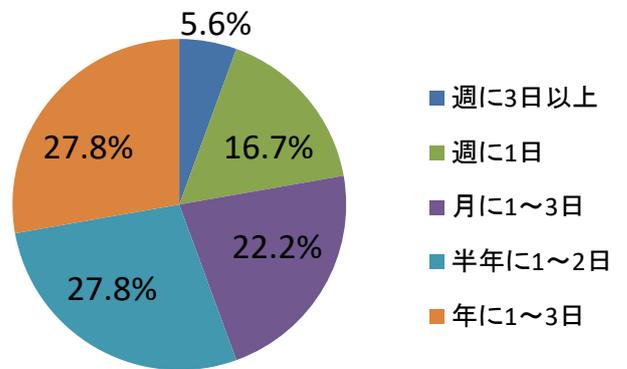


< サッカーとの関わりについて教えてください >

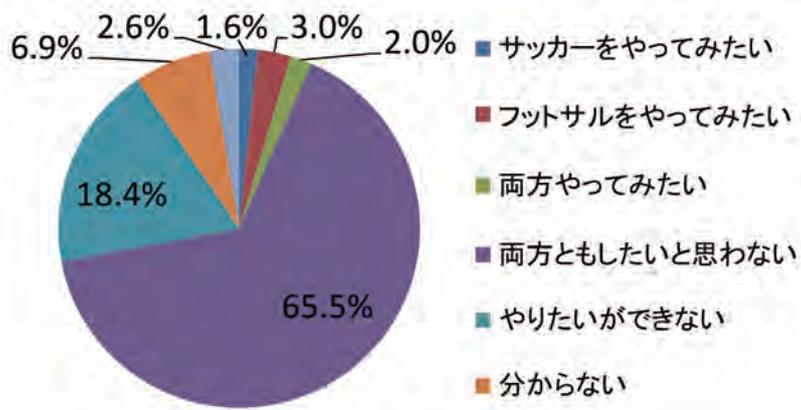
① 現在、あなたはサッカーまたはフットサルをしていますか



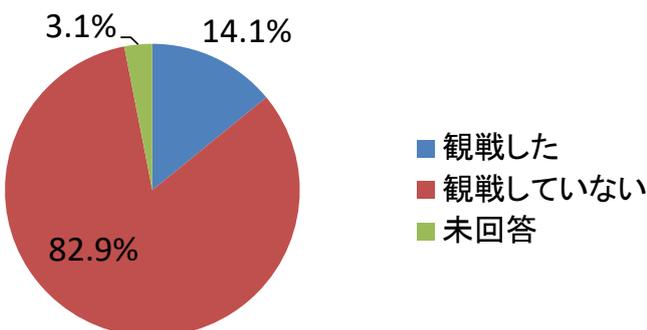
② どのくらいサッカーまたはフットサルをしていますか(N=18)



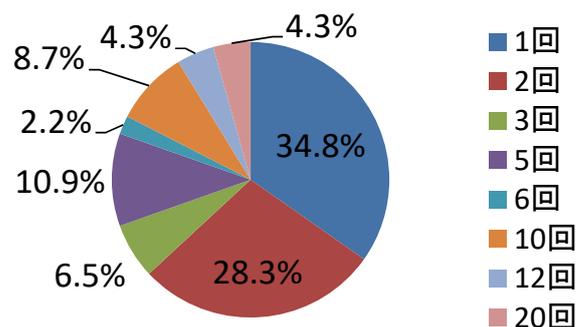
③ 今後サッカーまたはフットサルをしたいと思いますか(N=304)



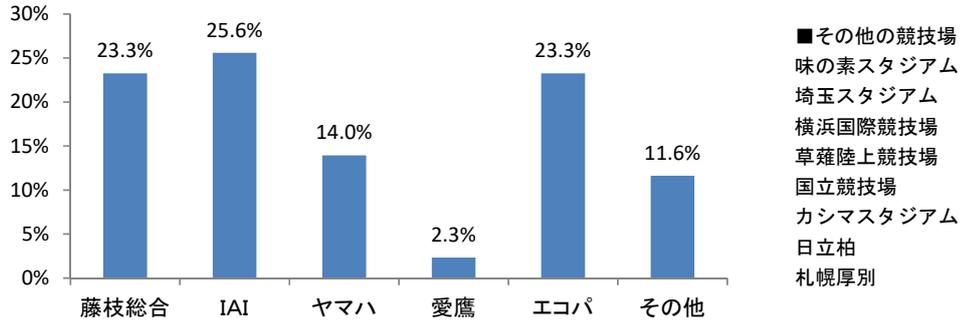
④ 過去1年間にリーグまたは日本代表戦を競技場等で観戦しましたか



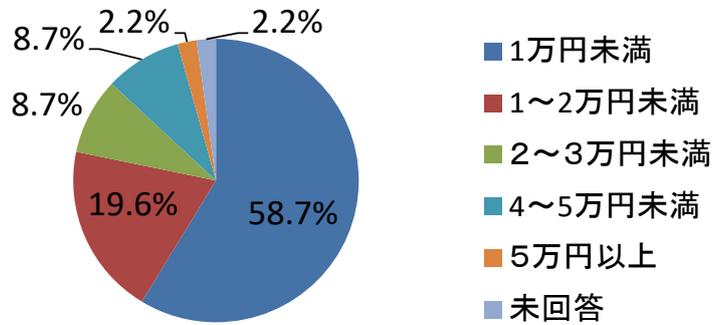
⑤ 観戦した回数(N=46)



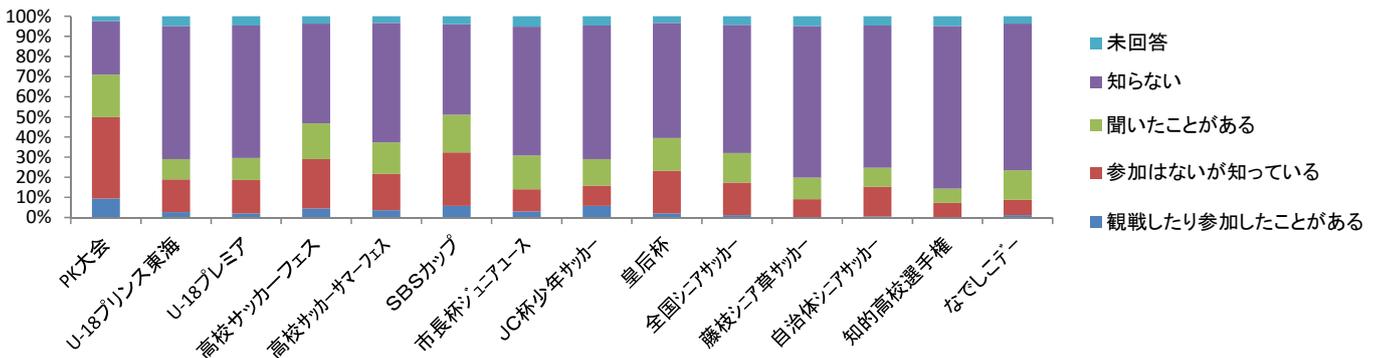
⑥ 観戦した競技場(複数回答可)



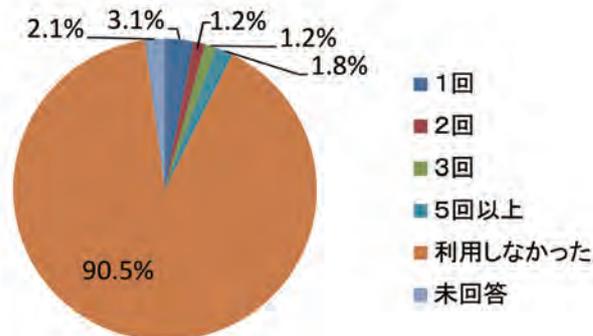
⑦ 過去1年間にサッカー観戦にどれくらいの費用をかけましたか(N=46)



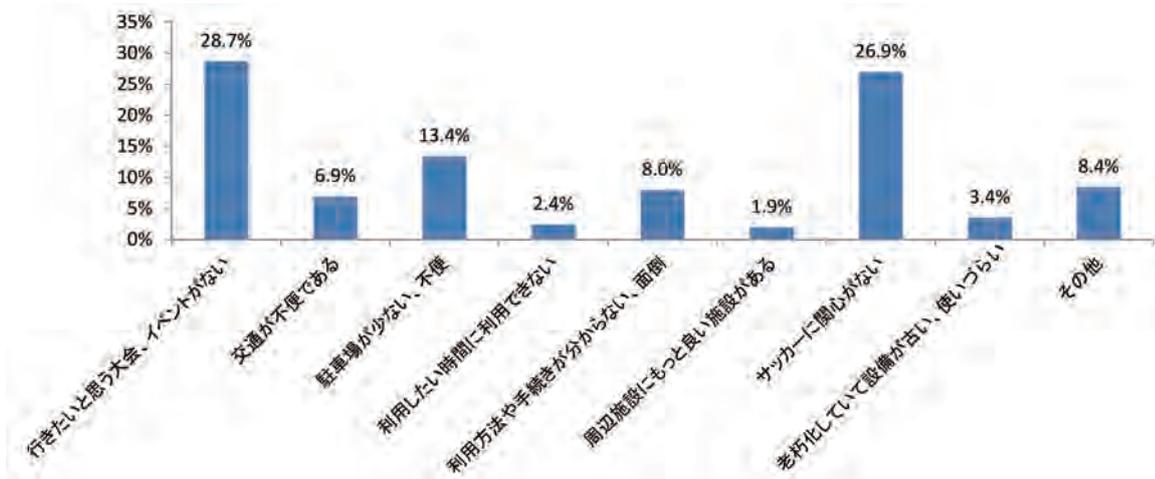
⑧ 藤枝市で開催されるサッカー大会、イベントへの関わり



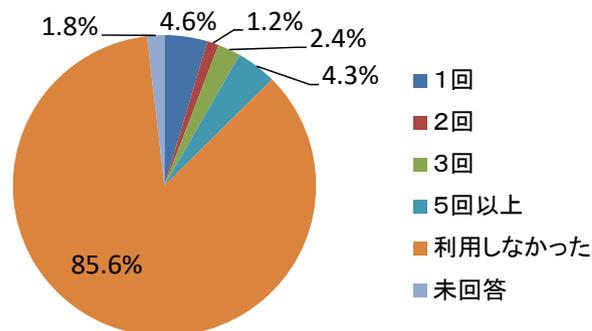
⑨ 過去1年間に市民グラウンドサッカー場をサッカー目的で利用しましたか(観戦含む)



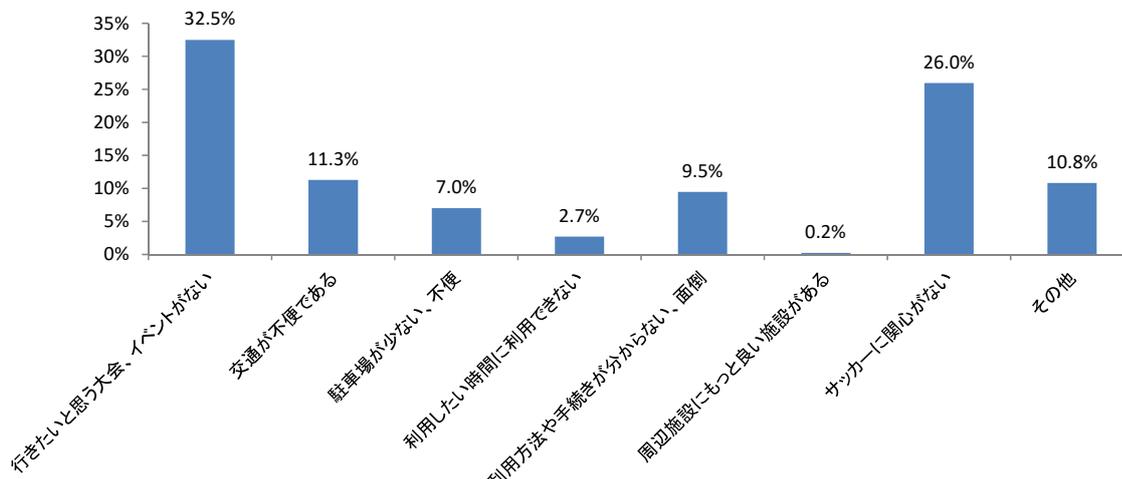
⑩ 市民グラウンドサッカー場を利用する上での問題点、または、利用しない理由(3つまで)



⑪ 過去1年間に総合運動公園(サッカー場、陸上競技場、多目的広場)をサッカー目的で利用しましたか(観戦含む)

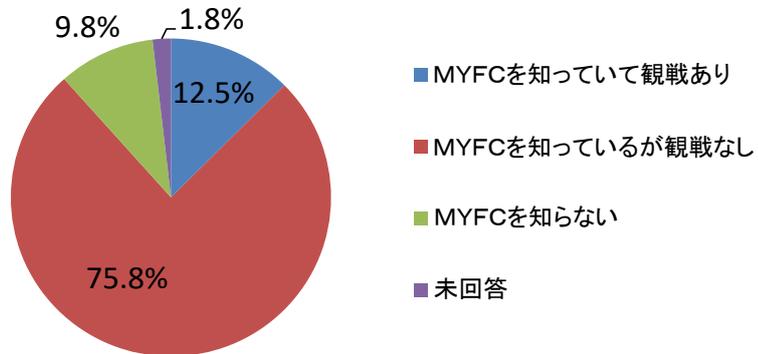


⑫ 総合運動公園(サッカー場、陸上競技場、多目的広場)を利用する上での問題点、または、利用しない理由(3つまで)

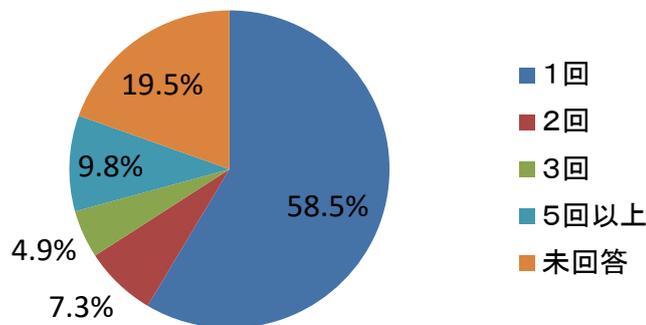


< 藤枝MYFCについて教えてください >

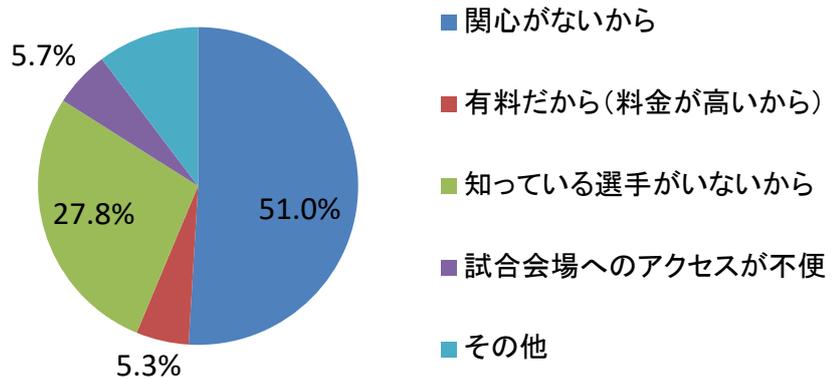
① 藤枝MYFCを知っていますか



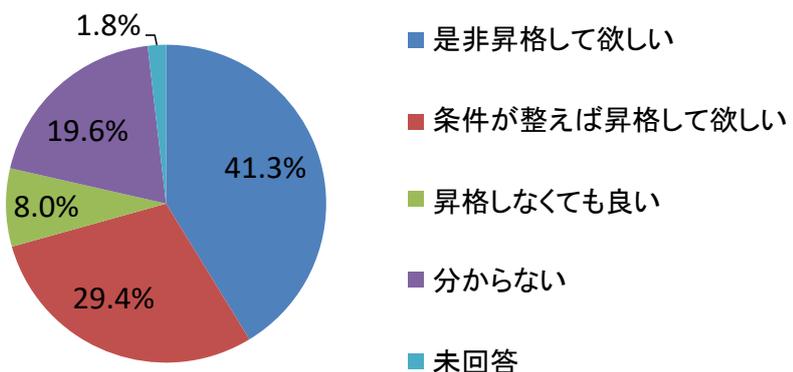
② 過去1年間に藤枝MYFCの試合を何回観戦しましたか(N=41)



③ 藤枝MYFCの試合を観戦しない理由は何ですか

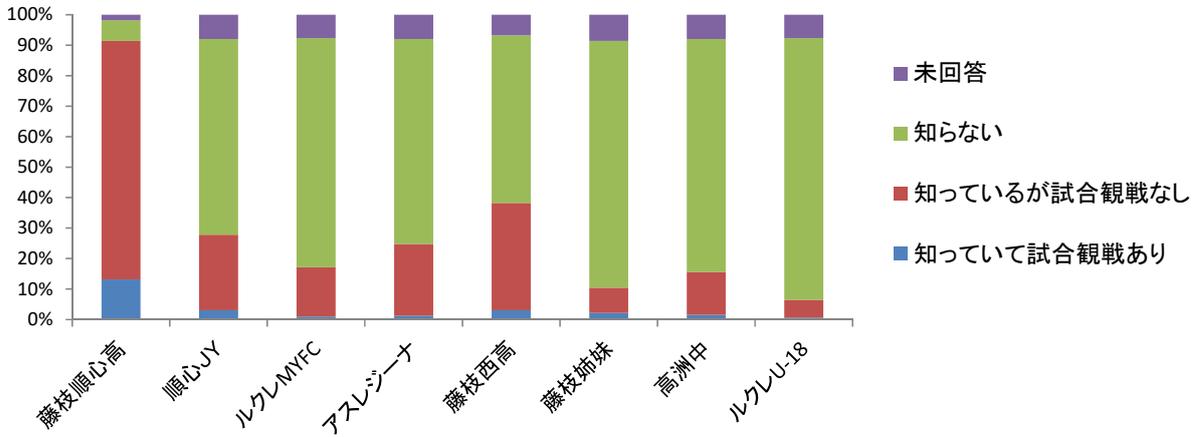


④ 藤枝MYFCが上位リーグ(J1・J2)に昇格して欲しいか

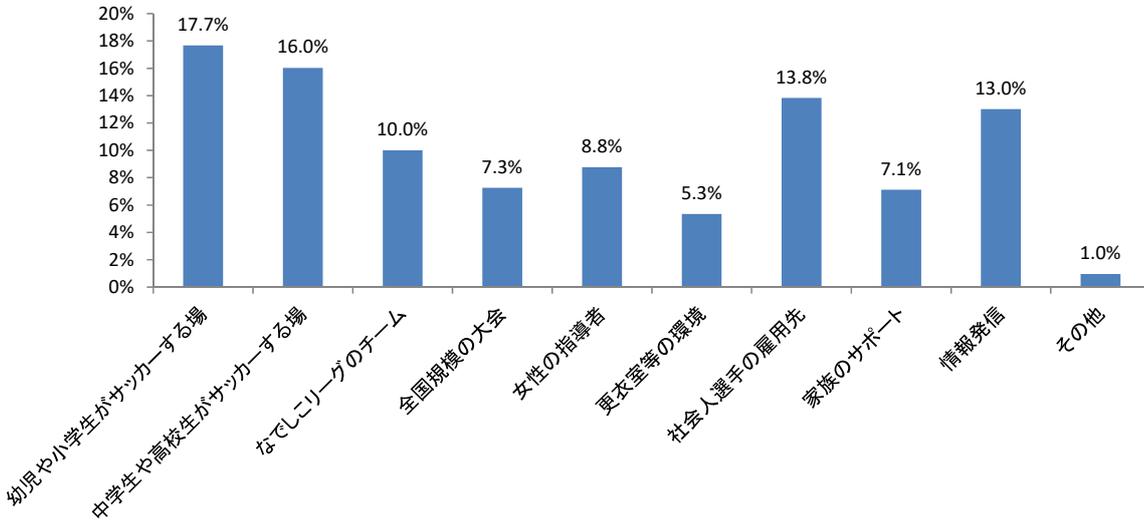


< 女子サッカーについて教えてください >

① 藤枝市内の女子サッカーチームを知っていますか

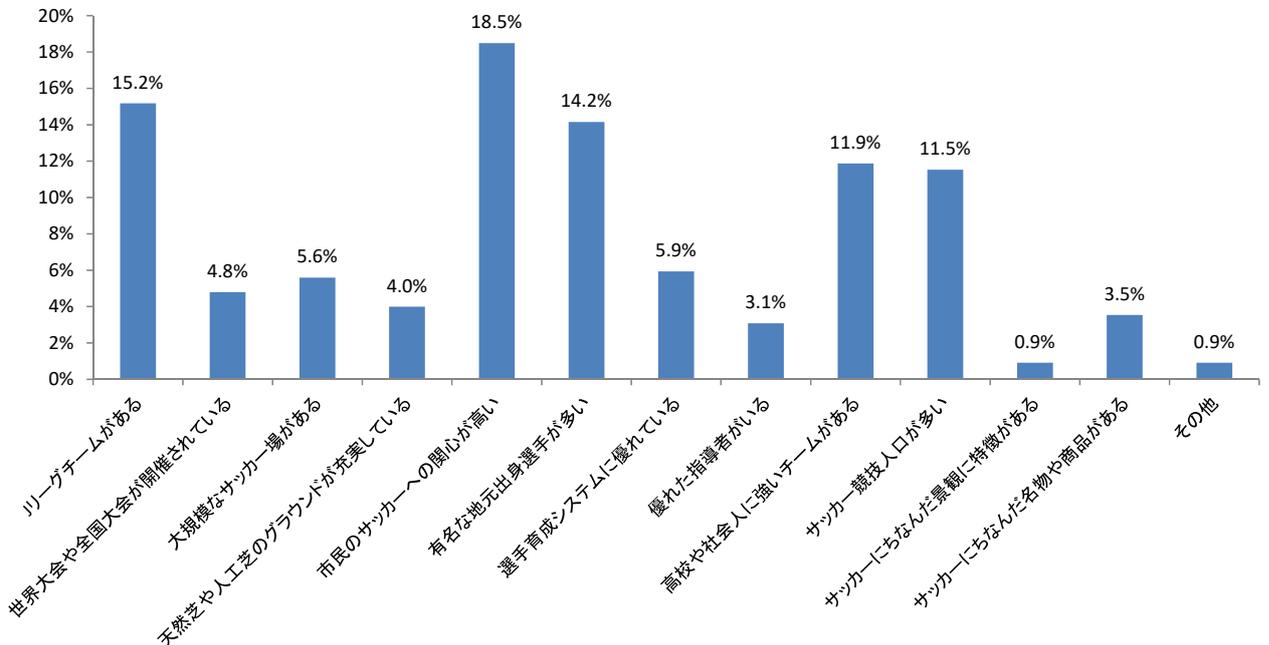


② 女子サッカーの普及、育成等の環境づくりを推進するために何が必要だと思いますか(3つまで)

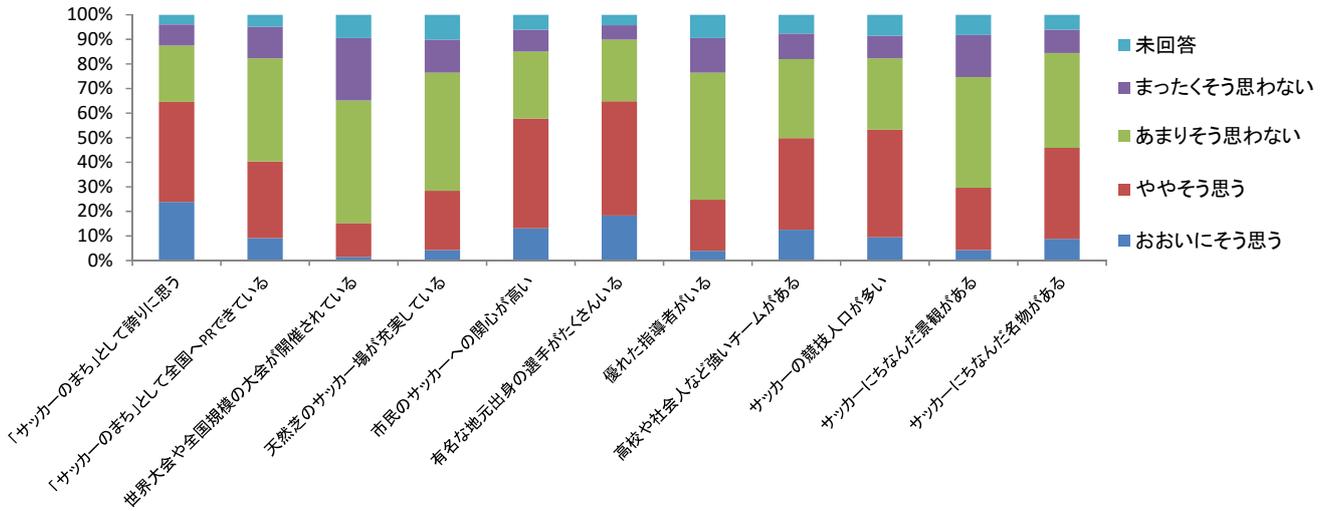


< サッカーのまち藤枝について教えてください >

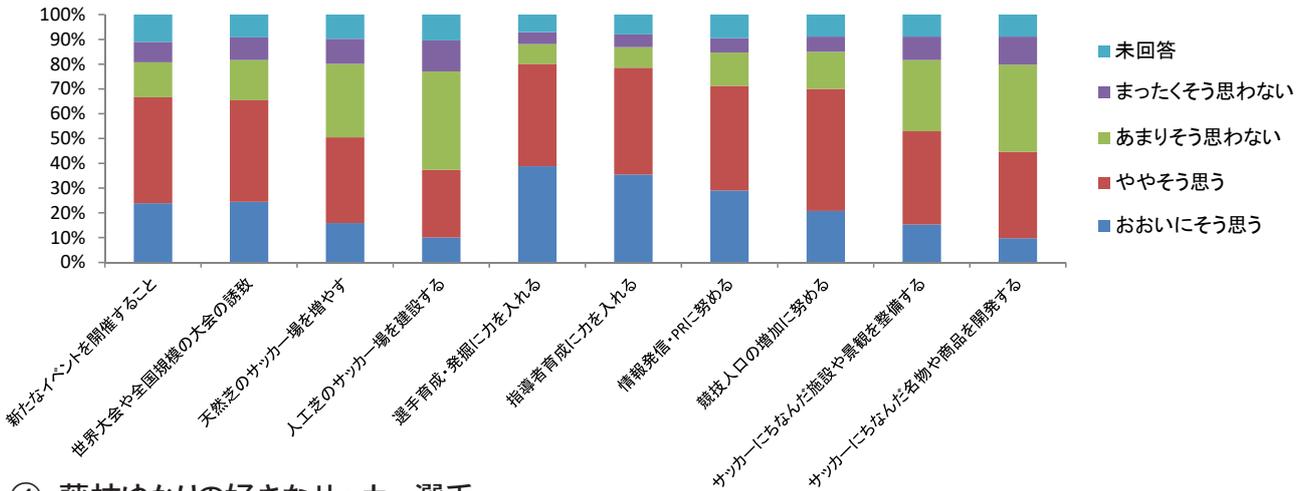
① あなたは「サッカーのまち」をどのようにイメージしますか(3つまで)



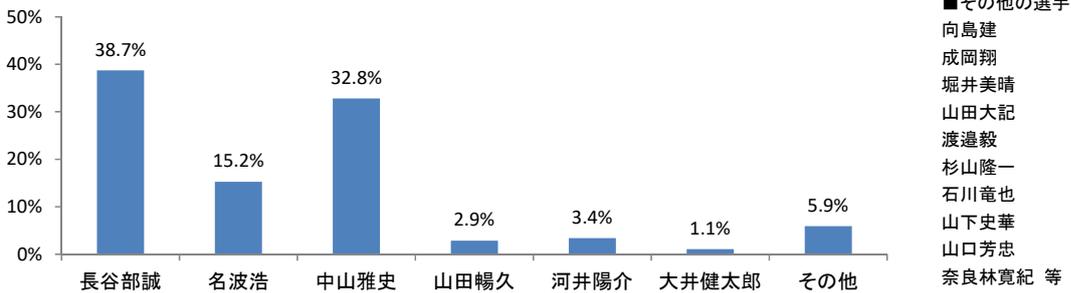
② 「サッカーのまち藤枝」についてどのように感じていますか



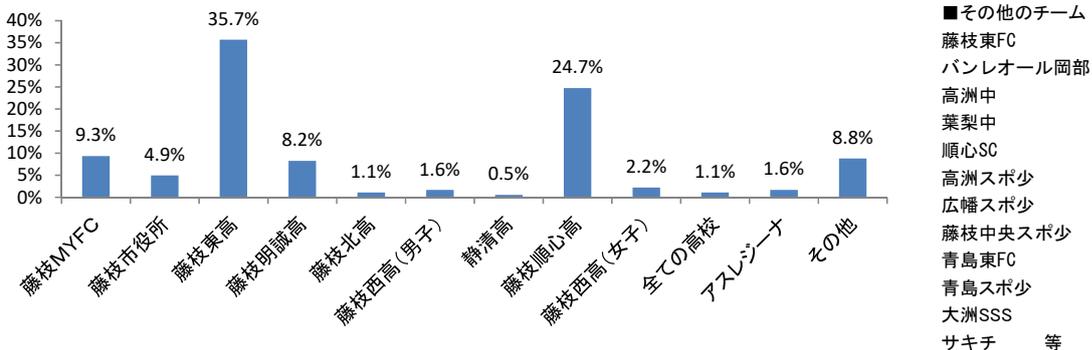
③ 「サッカーのまち藤枝」を推進するために、力を入れるべきだと思いますか



④ 藤枝ゆかりの好きなサッカー選手



⑤ 応援するチーム



	会 議	内 容
平成30年4月24日	第1回サッカーのまち藤枝懇談会	前計画の実施状況の報告、 計画見直しの基本方針説明、 アンケート内容検討
5月24日	行政経営会議	計画見直しの基本方針決定
5月24日	アンケート調査開始	市民1,000人
6月	アンケート集計、分析	
7月20日	第2回サッカーのまち藤枝懇談会	アンケート結果報告、意見聴取
8月28日	第1回庁内策定部会	アンケート結果報告、推進施策検討
10月15日	市議会総務文教委員協議会	計画素案への意見聴取
10月25日	第3回サッカーのまち藤枝懇談会	計画素案への意見聴取
10月31日	スポーツ推進審議会	計画素案への意見聴取
11月1日	庁内策定委員会	計画素案への意見聴取
11月22日	行政経営会議	計画（案）承認
12月12日	市議会総務文教常任委員会	計画（案）報告、 パブリックコメント実施の説明
12月21日	市議会全員協議会	計画（案）報告、 パブリックコメント実施の説明
12月25日～ 平成31年1月18日	パブリックコメント開始→パブリックコメント終了(25日間)	
1月22日	第2回庁内策定部会	パブリックコメント結果報告
2月13日	行政経営会議	パブリックコメント結果報告
3月8日	市議会総務文教常任委員会	パブリックコメント結果報告
3月28日	第4回サッカーのまち藤枝懇談会	パブリックコメント結果報告

サッカーのまち藤枝 懇談会

氏名	所属	備考
○ 桑原 勝義	学識経験	一般社団法人日本フットボールリーグ 理事長
加藤 訓義	学識経験	スポーツライター
服部 康雄	学識経験	一般財団法人静岡県サッカー協会 専務理事
臼井 郁夫	NPO法人藤枝市体育協会	NPO法人藤枝市体育協会 副会長
岸 登志満	藤枝市サッカー協会	藤枝市サッカー協会 理事長
山田 壽久	藤枝商工会議所	藤枝商工会議所 会頭
山本 敏晴	藤枝市校長会	藤枝市立岡部中学校 校長
渡邊 亜紀	一般	
鈴木 路子	一般	
山本 剛	一般	

※○印は座長

スポーツ推進審議会

氏名	所属	備考
◎ 河島 邦夫	NPO法人藤枝市体育協会	NPO法人藤枝市体育協会 会長
○ 竹田 務	広幡スポーツクラブ	広幡スポーツクラブ 会長
山崎 清志	藤枝市自治会連合会	藤枝市自治会連合会 支部長
朝比奈 友見	スポーツ推進委員会	スポーツ推進委員会 運営委員
塚本 博之	静岡産業大学	情報学部 教授
渡邊 一弘	藤枝市校長会	朝比奈第一小学校 校長
嶋津 正宏	志太医師会	しまづ整形外科
片山 美津子	藤枝市健康推進課	主幹兼健康支援係長

※◎印は会長、○印は副会長

サッカーのまち藤枝ドリームプラン策定委員会

所 属		役 職	氏 名
企画創生部	企画政策課・ICT推進室	企画政策課長兼ICT推進室長	田中 章元
	広域連携課	広域連携課長	石橋 学
	広報課	広報課長	谷口 昌教
	情報政策課	情報政策課長	青島 清司
市民文化部	協働政策課	協働政策課長	小川 聡
	市民活動団体支援課	市民活動団体支援課長	宇野 孝伸
スポーツ・文化局	スポーツ振興課	スポーツ振興課長	小西 裕充
健康福祉部	自立支援課	自立支援課長	種本 誠
	児童課	児童課長	矢部 史子
健やか推進局	健康企画課	健康企画課長	平澤 孝之
産業振興部	産業政策課	産業政策課長	大畑 範芳
	お茶のまち推進室	お茶のまち推進室長	安達 剛正
商業観光局	商業観光課	商業観光課長	五加 昌幸
都市建設部	中心市街地活性化推進課	中心市街地活性化推進課長	清水 康行
	花と緑の課	花と緑の課長	大塚 繁
基盤整備局	建設管理課	建設管理課長	徳谷 安英
教育部	教育政策課	教育政策課長	片山 豊実
	教育政策課	教育政策課主席指導主事	三須 貞佳
事務局	スポーツ・文化局	スポーツ・文化局長	山田 雅己
	サッカーのまち推進課	サッカーのまち推進課長	渡邊 剛
	サッカーのまち推進課	推進係長	疋田 幹佳
	サッカーのまち推進課	高校総体担当主任主査	坂口 誠
	サッカーのまち推進課	主事	小田 巻 遥

サッカーのまち藤枝ドリームプラン策定部会

所 属		役 職	氏 名
企画創生部	企画政策課	都市創生担当係長	江坂 祐哉
	ICT推進室	ICT推進係長	齋藤栄一郎
	広域連携課	連携推進係長	大久保幸廣
	広報課	広報広聴係長	小山 佳世
	情報政策課	情報システム係長	飯田 浩史
市民文化部	協働政策課	主幹兼地域活動推進担当係長	岡崎 功
	市民活動団体支援課	市民活動推進係長	岡本 幸太
スポーツ・文化局	スポーツ振興課	スポーツ施設係長	荻窪 勝宏
健康福祉部	自立支援課	主幹兼障害者総合支援係長	小川 康範
	児童課	主幹兼子育て政策係長	藁科 重人
健やか推進局	健康企画課	健康企画担当係長	松浦 大樹
産業振興部	産業政策課	主幹兼産業政策係長	村松 直樹
	お茶のまち推進室	主幹兼お茶のまち推進係長	永井 克俊
商業観光局	商業観光課	観光係長	良知 英人
都市建設部	中心市街地活性化推進課	主幹兼再開発係長	岡村 敏明
	花と緑の課	計画整備係長	三浦 紘史
基盤整備局	建設管理課	主幹兼管理係長	植松 秀友
教育部	教育政策課	施設・営繕係長	北川 宜宏
	教育政策課	主幹兼学習指導担当係長	藪崎 正人
事務局	サッカーのまち推進課	サッカーのまち推進課長	渡邊 剛
	サッカーのまち推進課	推進係長	疋田 幹佳
	サッカーのまち推進課	高校総体担当主任主査	坂口 誠
	サッカーのまち推進課	主事	小田 巻 遥

種別	チーム名	所属リーグ
1種 (社会人)	藤枝MYFC	日本プロサッカーリーグ3部(J3)
	藤枝市役所サッカー部	東海社会人サッカーリーグ1部
	パイシャオンFC	静岡県社会人サッカーリーグ1部
	ウィスタリア藤枝FC	静岡県社会人サッカーリーグ2部
	FC・FARRAGO	静岡県社会人サッカーリーグ2部
	ダイレクトスターズ	静岡県社会人サッカーリーグ3部
	JIOVINEZZA	中西部社会人サッカーリーグ1部
	藤枝東FC志太サッカークラブ	中西部社会人サッカーリーグ1部
	瀬戸谷サッカークラブ	中西部社会人サッカーリーグ1部
	藤北クラブ	中西部社会人サッカーリーグ2部
	FCサンロード	中西部社会人サッカーリーグ2部
	スクラッチヒューストン	中西部社会人サッカーリーグ2部
	M. A. CHAKAZ	中西部社会人サッカーリーグ2部
	2種	藤枝東高校サッカー部
藤枝北高校サッカー部		
藤枝西高校サッカー部		
藤枝明誠高校サッカー部		
静清高校サッカー部		
3種	藤枝中学校サッカー部	
	西益津中学校サッカー部	
	青島中学校サッカー部	
	高洲中学校サッカー部	
	大洲中学校サッカー部	
	青島北中学校サッカー部	
	広幡中学校サッカー部	
	葉梨中学校サッカー部	
	岡部中学校サッカー部	
	藤枝明誠スポーツクラブ	
	エスパルスサッカースクール藤枝	
	藤枝東FCジュニアユース	
	BANREYORE岡部SCジュニアユース	
	藤枝静清フットボールクラブ	

4種	藤枝サッカースポーツ少年団	
	藤枝中央サッカースポーツ少年団	
	西益津サッカースポーツ少年団	
	青島サッカースポーツ少年団	
	青島東FC	
	高洲サッカースポーツ少年団	
	大洲サッカースポーツ少年団	
	稲葉サッカースポーツ少年団	
	広幡サッカースポーツ少年団	
	藤岡サッカースポーツ少年団	
	高洲南サッカースポーツ少年団	
	青島北サッカースポーツ少年団	
	藤枝明誠スポーツクラブ	
	岡部サッカースポーツ少年団	
	BANREYORE岡部SCジュニア	
	NPO藤枝東ジュニア	
	SAKICHI FACTORY	
	蹴力 HANASHI FC	
	藤枝順心サッカークラブジュニア	
	女子	藤枝順心高校サッカー部
藤枝順心SCジュニアユース		東海女子サッカーリーグ1部
ルクレMYFC		東海女子サッカーリーグ2部
ASREGINA		静岡県女子サッカーリーグ1部
藤枝西高校女子サッカー部		静岡県女子サッカーリーグ2部
藤枝姉妹FC		中西部女子サッカーリーグ
高洲中学校女子サッカー部		中西部女子サッカーリーグ
シニア	藤枝フットボールクラブ	静岡県シニアサッカーリーグ
	NPO藤枝東フットボールクラブシニア	静岡県シニアサッカーリーグ

1924 (大正13年)	サッカーを志太中 (現藤枝東高) の校技とする
1926 (大正15年)	志太中蹴球部 創設
1934 (昭和 9年)	志太中主催の郡下小学校蹴球大会が始まる
1936 (昭和11年)	松永行、笹野積次 (志太中出身) 日本代表入り
	ベルリンオリンピックで松永行、笹野積次 (志太中出身) が活躍
1942 (昭和17年)	松永信夫 (志太中出身) 日本代表入り
1947 (昭和22年)	志太サッカークラブ 結成
1949 (昭和24年)	藤枝町体育協会に蹴球部加盟 (現藤枝市サッカー協会)
1951 (昭和26年)	松永碩 (志太中出身) 日本代表入り
1952 (昭和27年)	第32回天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催
1953 (昭和28年)	第6回全日本実業団サッカー選手権大会 開催
1956 (昭和31年)	第34回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 初出場
	第11回国民体育大会 (兵庫県) 藤枝東高 準優勝
1957 (昭和32年)	第35回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位
	第12回国民体育大会 (静岡県) サッカー競技 開催 一般の部 志太サッカークラブ、高校の部 藤枝東高 共に優勝
	昭和天皇皇后両陛下 藤枝東高にて国体をご観覧される
1958 (昭和33年)	第38回天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催
1959 (昭和34年)	藤枝市役所サッカー部が発足 (部員30名)
	第14回国民体育大会 (東京都) 藤枝東高 3位
	杉山隆一 (現藤枝市在住) U-20日本代表入り
1960 (昭和35年)	第38回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位
	海野勇、鈴木秀利 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
	鈴木秀利 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1961 (昭和36年)	第39回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位
	第41回天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催
	杉山隆一 (現藤枝市在住)、椋尾健次、渡邊昭夫 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1962 (昭和37年)	山口芳忠 (藤枝東高) U-20日本代表入り
1963 (昭和38年)	第41回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 初優勝
	桑原勝義、井沢邦彦 (藤枝東高出身)、小山益雄 (藤枝北高出身) U-20日本代表入り
	第18回国民体育大会 (山口県) 一般の部 藤枝キッカーズ、高校の部 藤枝東高 共に3位 富沢清司 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1964 (昭和39年)	第42回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝 (2連覇)
	山口芳忠 (藤枝東高出身) 日本代表入り
	東京オリンピック 山口芳忠、富沢清司 (藤枝東高出身)、杉山隆一 (現藤枝市在住) 出場
	松田幸男、堀江喜作 (藤枝北高出身)、神戸勉 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
	全国で初めて、藤枝、西益津サッカースポーツ少年団が結成
	第17回全日本実業団サッカー選手権大会 開催 第19回国民体育大会 (新潟県) 藤枝東高 準優勝

1965 (昭和40年)	第1回藤枝市サッカー祭 開催
	桑原勝義 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1966 (昭和41年)	第44回全国高校サッカー選手権大会 藤枝北高 初出場
	全国高校総体 (青森県) 藤枝東高 初優勝
	第21回国民体育大会 (大分県) 藤枝東高 優勝
	松永章 (藤枝東高) U-20日本代表入り
1967 (昭和42年)	第45回全国高校サッカー選手権大会で藤枝東高が優勝し、 高校サッカー初の三冠達成 (総体、国体、選手権)
	三浦孝一、桑原隆、沼野洋一郎、井沢千秋、山崎利夫 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
	藤枝市民グラウンド開設
1968 (昭和43年)	メキシコオリンピック 山口芳忠、富沢清司 (藤枝東高出身)、杉山隆一 (現藤枝市在住) 出場
1969 (昭和44年)	第24回国民体育大会 (長崎県) 藤枝東高 3位
	菊川凱夫 (藤枝東高出身) 日本代表入り
	村松章隆 (藤枝東高)、市川三雄 (藤枝中出身) U-20日本代表入り
1970 (昭和45年)	第6回全国社会人サッカー選手権大会 開催
	碓井博行 (藤枝東高) U-20日本代表入り
	第4回全国サッカースポーツ少年団大会 全藤枝 優勝
	第2回全国サッカーカーニバル 藤枝中央小 優勝
	第1回全国中学校サッカー大会 西益津中 優勝
	全国で初めて高校のサッカーフェスティバルを開催
藤枝市民グラウンドのスタンド完成	
1971 (昭和46年)	第49回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝
	全国高校総体 (徳島県) 藤枝東高 優勝
	第2回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝
	三浦孝一、井沢千秋 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1972 (昭和47年)	池谷茂、堀井美晴 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
	第6回全国サッカースポーツ少年団大会 全藤枝 優勝
	第4回全国サッカーカーニバル 藤枝小 優勝
	第2回全国自治体職員サッカー選手権大会 (大阪市) 藤枝市役所 準優勝
	全国高校総体 (山形県) 藤枝東高 3位
1973 (昭和48年)	第51回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 準優勝
	滝井敏郎、大畑行男 (藤枝東高出身)、中村一義 (藤枝東高) U-20日本代表入り
	第3回全国自治体職員サッカー選手権大会が藤枝市で開催され藤枝市役所初優勝
	松永章 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1974 (昭和49年)	第52回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 準優勝
	岡本勇、内藤洋介 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
	碓井博行 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1975 (昭和50年)	第6回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝
	第5回全国自治体職員サッカー選手権大会 (五戸町) 藤枝市役所 準優勝
	第1回関東・関西大学選抜対抗戦 開催

1976 (昭和51年)	第6回全国自治体職員サッカー選手権大会 (大分市) 藤枝市役所 準優勝
	第2回関東・関西大学選抜対抗戦 開催
	第53回早稲田大学・関西学院大学サッカー定期戦 開催
	川口勝 (青島中出身) U-20日本代表入り
1977 (昭和52年)	第1回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催
	第7回全国自治体職員サッカー選手権大会 (秋田市) 藤枝市役所 優勝
	第3回関東・関西大学選抜対抗戦 開催
	八木智嗣 (広幡中出身) U-20日本代表入り
	第8回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝
1978 (昭和53年)	第2回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催
	藤枝市婦人体操教室の生徒、指導者が藤枝姉妹FCを創部
	第9回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝
	第4回関東・関西大学選抜対抗戦 開催
	川口勝 (青島中出身) 日本代表入り
	杉山誠、杉山実 (藤枝中出身) U-20日本代表入り
1979 (昭和54年)	第3回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催
	第10回全国中学校サッカー大会 藤枝中 優勝
	第9回全国自治体職員サッカー選手権大会 (浦和市) 藤枝市役所 優勝
	中村一義、堀井美晴 (藤枝東高出身) 日本代表入り
1980 (昭和55年)	藤枝市役所サッカー部 東海リーグ昇格
	第4回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催
	第11回全国中学校サッカー 藤枝中 優勝 (2連覇)
	第10回全国自治体職員サッカー選手権大会 (益田市) 藤枝市役所 優勝 (2連覇)
	宮本行宏 (西益津中出身) U-20日本代表入り
1981 (昭和56年)	第5回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催
	第11回全国自治体職員サッカー選手権大会 (高松市) 藤枝市役所 準優勝
	宮本行宏 (西益津中出身) 日本代表入り
	本間智恵子 (現藤枝順心高出身) 日本女子代表入り
	藤枝市長旗争奪サッカー定期戦始まる 藤枝東高 対 藤枝北高
1982 (昭和57年)	第12回全国自治体職員サッカー選手権大会 (函館市) 藤枝市役所 優勝 (5回目)
	西日本OBサッカー藤枝大会 開催
1983 (昭和58年)	第13回全国自治体職員サッカー選手権大会 (松本市) 藤枝市役所 優勝 (2連覇)
1984 (昭和59年)	第5回全日本女子サッカー選手権大会 藤枝姉妹FC出場
	第14回全国自治体職員サッカー選手権大会 (名古屋市) 藤枝市役所 優勝 (3連覇)
	石神良訓 (西益津中出身) 日本代表入り
	加藤寿一 (吉田中→藤枝東高) U-17日本代表入り
1985 (昭和60年)	第63回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位
	第15回全国自治体職員サッカー選手権大会 (韮崎市) 藤枝市役所 優勝 (4連覇)
	小西理 (藤枝東高出身)、池田司信 (西益津中出身) 日本代表入り

1986 (昭和61年)	第16回全国自治体職員サッカー選手権大会 (十和田市) 藤枝市役所 準優勝
	倉田安治 (藤枝東高出身) 日本代表入り
	中山雅史 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
1987 (昭和62年)	第18回全国中学校サッカー大会が藤枝市で開催され、西益津中3位
	第11回全日本少年サッカー大会 藤枝FCトレセン 準優勝
	第17回全国自治体職員サッカー選手権大会 (広島市) 藤枝市役所 優勝
1988 (昭和63年)	藤枝市役所サッカー部 日本サッカーリーグ2部昇格
	中央防犯サッカークラブ 東海リーグ昇格
	第18回全国自治体職員サッカー選手権大会 (延岡市) 藤枝市役所 準優勝
	名波浩 (西益津中出身)、永井克俊 (藤枝東高) U-17日本代表入り
1989 (平成元年)	第1回FIFA5人制室内サッカー世界選手権大会 (オランダ) 倉田安治 (藤枝東高出身) 出場
	第25回全国社会人サッカー選手権大会 中央防犯サッカークラブ 優勝
	第19回全国自治体職員サッカー選手権大会 (高松市) 藤枝市役所 優勝 (10回目)
1990 (平成 2年)	高円宮杯第2回全日本ユース (U-15) サッカー選手権大会 藤枝中学校 優勝
	第26回全国社会人サッカー選手権大会 中央防犯サッカー部 優勝 (2連覇)
	第20回全国自治体職員サッカー選手権大会 (清水市) 藤枝市役所 優勝 (2連覇)
	中山雅史 (藤枝東高出身) 日本代表入り
	名波浩 (西益津中出身) U-20日本代表入り
	第6回全国JCSサッカー選手権大会 開催
1991 (平成 3年)	中央防犯ACM藤枝フットボールクラブ 日本サッカーリーグ2部昇格
	第21回全国自治体職員サッカー選手権大会 (東京都) 藤枝市役所 優勝 (3連覇)
	全国高等学校総合体育大会 開催
1992 (平成 4年)	高円宮杯第3回全日本ユース (U-18) サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝
	第22回全国自治体職員サッカー選手権大会 (中津市) 藤枝市役所 準優勝
	中央防犯ACM藤枝フットボールクラブ 日本フットボールリーグ2部優勝
	名波浩 (西益津中出身) U-23日本代表入り
1993 (平成 5年)	中央防犯ACM藤枝フットボールクラブ 日本フットボールリーグ1部昇格
	FIFAワールドカップ(アメリカ) アジア地区最終予選で、中山雅史 (藤枝東高出身) が大活躍
	第23回全国自治体職員サッカー選手権大会 (石巻市) 藤枝市役所 優勝
	山田暢久 (藤枝東高) U-20日本代表入り
1994 (平成 6年)	第24回全国自治体職員サッカー選手権大会 (千葉市) 藤枝市役所 準優勝
1995 (平成 7年)	第25回全国自治体職員サッカー選手権大会 (室蘭市) 藤枝市役所 優勝
	名波浩(西益津中出身) 日本代表入り
	山田暢久 (藤枝東高出身) U-23日本代表入り
	山田智紀 (藤枝中) U-17日本代表入り
1996 (平成 8年)	第26回全国自治体職員サッカー選手権大会 (大垣市) 藤枝市役所 優勝 (2年連続15回目)
	第32回全国社会人サッカー選手権大会 藤枝市役所 3位
	鷲巣延圭、片山知昭 (藤枝東高) U-17日本代表入り

1997 (平成 9年)	渡辺毅 (藤枝東高出身) 日本代表入り
	第27回全国自治体職員サッカー選手権大会 (福井県) 藤枝市役所 (3連覇)
	石川竜也 (藤枝東高) U-20日本代表入り
1998 (平成10年)	第76回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位
	第28回全国自治体職員サッカー選手権大会 (J ヴィレッジ) 藤枝市役所優勝 (4連覇)
	高円宮杯第9回全日本ユース (U-18) サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝
	FIFAワールドカップ (フランス) に日本代表として 中山雅史 (藤枝東高出身)、名波浩 (西益津中出身) が出場
	名波浩 (西益津中出身) 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞
石井俊也 (大洲中出身) U-23日本代表入り	
1999 (平成11年)	第10回FIFAワールドユース選手権大会 (ナイジェリア) に石川竜也 (藤枝東高出身) が出場し準優勝
	石川竜也 (藤枝東高出身) 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞
	第29回全国自治体職員サッカー選手権大会 (札幌市) 藤枝市役所 優勝 (5連覇)
	第8回全日本高校女子サッカー選手権大会 藤枝西高 3位
	山田暢久 (藤枝東高出身) 日本代表入り
成岡翔 (EWS FCジュニアユース→藤枝東高) U-17日本代表入り	
2000 (平成12年)	AFCアジアカップ2000 名波浩 (西益津中出身) 出場し優勝 大会MVP
	第30回全国自治体職員サッカー選手権大会 (倉敷市) 藤枝市役所 優勝 (6連覇)
2001 (平成13年)	全国高校総体 藤枝東高 準優勝
	第10回全日本高校女子サッカー選手権大会 藤枝西高 3位
	遠山さゆり (藤枝西高) U-20日本女子代表入り
	大井健太郎 (藤枝東高) U-17日本代表入り
	赤星貴文 (清水エスパルスジュニアユース→藤枝東高)、 長原克弥 (ヤマハジュビロ掛川→藤枝東高) U-17日本代表入り
FIFAコンフェデレーションズカップ2001 中山雅史 (藤枝東高出身) 出場 準優勝	
2002 (平成14年)	藤枝総合運動公園オープン
	セネガル共和国代表 FIFAワールドカップ (日本・韓国共催) 事前キャンプ5/16~22
	セネガル共和国代表 対 柏レイソルの親善試合
	セネガル共和国代表 FIFAワールドカップ (日本・韓国共催) ベスト8進出
	FIFAワールドカップ (日本・韓国共催) 中山雅史 (藤枝東高出身) 出場 ベスト16進出
	第38回全国社会人サッカー選手権大会 開催
	第32回全国自治体職員サッカー選手権大会 (日立市) 藤枝市役所 優勝 (20回目)
成岡翔、大井健太郎 (藤枝東高) U-20日本代表入り	
2003 (平成15年)	第33回全国自治体職員サッカー選手権大会 (帯広市) 藤枝市役所 優勝 (2連覇)
	第58回国民体育大会 サッカー競技 成年男子の部 開催
	成岡翔、大井健太郎 (藤枝東高) U-23日本代表入り
	長谷部誠 (藤枝東高出身) U-20日本代表入り
	原田圭輔 (札幌ジュニアFCユース→藤枝東高) U-17日本代表入り
	佐野弘子 (藤枝西高→藤枝FCアミーガ出身) 日本女子代表入り
FIFAワールドユース選手権UAE2003に成岡翔 (藤枝東高出身) 出場	

2004 (平成16年)	第34回全国自治体職員サッカー選手権大会 藤枝市で開催され藤枝市役所 優勝 (3連覇)
	AFC U-17サッカー選手権大会2004 開催
	高円宮杯第15回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催
	岸佑亮、鈴木崇記(藤枝東高) U-17日本代表入り 佐藤シェンネン(藤枝西高出身) U-20日本女子代表入り
2005 (平成17年)	第4回全国シニア(50歳以上)サッカー大会 開催
	高円宮杯第16回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催
	杉山紫乃(藤枝順心高) U-20日本女子代表入り
	興山このみ(藤枝フットボールクラブ出身) U-17日本女子代表入り 杉山隆一(現藤枝市在住) 日本サッカー殿堂入り
2006 (平成18年)	第15回全日本高校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高 優勝
	第36回全国自治体職員サッカー選手権大会(島原市) 藤枝市役所 優勝
	高円宮杯第17回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催
	高円宮杯第18回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 開催 長谷部誠(藤枝東高出身) 日本代表入り
2007 (平成19年)	第10回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 藤枝順心高 3位
	第37回全国自治体職員サッカー選手権大会(山形市) 藤枝市役所 優勝(2連覇)
	高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催
	山口芳忠(藤枝東高出身) 日本サッカー殿堂入り
	興山このみ(藤枝フットボールクラブ出身) U-20日本女子代表入り
	第86回全国高校サッカー選手権大会 県大会決勝43年ぶり藤枝ダービー 藤枝東高 対 藤枝明誠高
	河井陽介(藤枝東高) U-20日本代表入り 高野沙希(FCヴィトリア→藤枝順心高) U-17日本女子代表入り FIFAクラブワールドカップ(トヨタカップ) 浦和レッズの山田暢久・長谷部誠(藤枝東高出身) 3位
2008 (平成20年)	第86回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高準優勝 34年ぶり決勝進出
	なでしこジャパンキャンプ
	藤枝東高サッカー部 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞
	第8回全国シニア(60歳以上)サッカー大会 開催
	シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル 開催
	第38回全国自治体職員サッカー選手権大会(出雲市) 藤枝市役所 優勝(3年連続25回目)
	高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 キリンサッカーフィールド2008サッカー教室 開催 村松大輔(藤枝東高出身) U-20日本代表入り
2009 (平成21年)	第12回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 藤枝順心高 3位
	なでしこジャパン&U-19日本女子代表キャンプ
	第39回全国自治体職員サッカー選手権大会(前橋市) 藤枝市役所 準優勝
	高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会 サッカー競技 開催

2010 (平成22年)	村松大輔 (藤枝東高出身) 日本代表入り
	宝くじスポーツフェア・ドリームサッカー～日本代表OBがやってくる!～開催
	第10回全国シニア (60歳以上) サッカー大会 開催
	シニア (70歳以上) サッカーフェスティバル 開催
	FIFAワールドカップ (南アフリカ共和国) 長谷部誠 (藤枝東高出身) 出場 ベスト16進出
	長谷部誠 (藤枝東高出身) 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞
	高円宮杯第21回全日本ユース (U-18) サッカー選手権大会 開催
	F I F A U-17女子ワールドカップ (トリニダード・トバゴ)
	榎本芹菜 (藤枝順心高)、川島はるな (藤枝 F C 出身) 出場 準優勝
	第26回全国 J C サッカー選手権大会 開催
	第40回全国自治体職員サッカー選手権大会 (松山市) 藤枝市役所 優勝 (26回目)
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2010 開催
	全国地域サッカーリーグ決勝大会 開催
第32回全日本女子サッカー選手権大会 開催	
2011 (平成23年)	A F C アジアカップ (カタール) 長谷部誠 (藤枝東高出身) 日本代表キャプテンとして出場し優勝
	長谷部誠チャリティイベントIN FUJIEDA ～PASS THE MESSAGE～ 開催
	第10回全国シニア (50歳以上) サッカー大会 開催
	shizuoka. 藤枝MY F C 全国社会人サッカー選手権大会 3位
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2011 開催
第33回全日本女子サッカー選手権大会 開催	
2012 (平成24年)	第9回全日本知的障害者サッカー選手権大会 開催
	日本フットボールリーグ (藤枝MY F C) 開催
	第12回全国シニア (60歳以上) サッカー大会 開催
	シニア (70歳以上) サッカーフェスティバル 開催
	ロンドンオリンピック 村松大輔 (藤枝東高出身) 出場 4位
	第41回全国自治体職員サッカー選手権大会 (堺市) 藤枝市役所 優勝 (2年連続27回目)
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2012 開催
皇后杯第34回全日本女子サッカー選手権大会 開催	
2013 (平成25年)	第10回全日本知的障害者サッカー選手権大会 開催
	日本フットボールリーグ (藤枝MY F C) 開催
	第12回全国シニア (50歳以上) サッカー大会 開催
	第18回全日本女子ユース (U-15) サッカー選手権大会 藤枝順心サッカークラブジュニアユースブルー 初優勝
	第1回藤枝シニア草サッカー大会 開催
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2013 開催
	藤枝MYFC Jリーグ準加盟承認され、J3リーグへ参入決定
	皇后杯第35回全日本女子サッカー選手権大会 開催
	F I F A コンフェデレーションズカップ (ブラジル) 長谷部誠 (藤枝東高出身) 出場
	山田大記 (藤枝東高出身) 日本代表入り
北原佳奈 (藤枝順心高出身) 日本女子代表入り	

2014(平成26年)	第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高 準優勝
	J 3 リーグ開幕 藤枝MYFC
	第14回全国シニア (60歳以上) サッカー大会 開催
	シニア (70歳以上) サッカーフェスティバル 開催
	第43回全国自治体職員サッカー選手権大会 (七尾市) 藤枝市役所 優勝
	第2回藤枝シニア草サッカー大会 開催
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2014 開催
	皇后杯第36回全日本女子サッカー選手権大会 開催
	U-17女子ワールドカップ (コスタリカ) 杉田妃和・児野楓香 (藤枝順心高) 出場 優勝
F I F Aワールドカップ (ブラジル) 長谷部誠 (藤枝東高出身) 日本代表キャプテンとして出場	
2015 (平成27年)	第23回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 第3位
	第12回全日本知的障害者サッカー選手権大会 開催
	J 3 リーグ (藤枝MYFC) 開催
	第14回全国シニア (50歳以上) サッカー大会 開催
	FIFA女子ワールドカップ (カナダ) 北原佳奈 (藤枝順心高出身) 出場 準優勝
	第44回全国自治体職員サッカー選手権大会 (旭川市) 藤枝市役所 優勝
	第3回藤枝シニア草サッカー大会 開催
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2015 開催
	皇后杯第37回全日本女子サッカー選手権大会 開催
高畑志帆 (藤枝順心高出身) 日本女子代表入り	
2016 (平成28年)	第24回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝
	第1回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催
	U-16日本代表合宿 開催
	J 3 リーグ (藤枝MYFC) 開催
	全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 (女子) 藤枝順心高校 初優勝
	第45回全国自治体職員サッカー選手権大会 (鹿児島市) 藤枝市役所 優勝
	長谷部誠 (藤枝東高出身) 日本代表100試合出場達成
	第4回藤枝シニア草サッカー大会 開催
	U-17女子ワールドカップ (ヨルダン) 千葉玲海菜 (藤枝順心高) 出場 準優勝
	皇后杯第38回全日本女子サッカー選手権大会 開催
	第4回全国シニア (40歳以上) サッカー大会 開催
U-20女子ワールドカップ (パプアニューギニア) 杉田妃和・河野朱里 (藤枝順心高出身) 出場 第3位	

2017 (平成29年)	第2回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催
	J3リーグ (藤枝MYFC) 開催
	第17回全国シニア (60歳以上) サッカー大会 開催
	シニア (70歳以上) サッカーフェスティバル 開催
	全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 (女子) 藤枝順心高校 準優勝
	第46回全国自治体職員サッカー選手権大会 (伊勢市) 藤枝市役所 優勝
	第5回藤枝シニア草サッカー大会 開催
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2017 開催
2018 (平成30年)	皇后杯第39回全日本女子サッカー選手権大会 開催
	第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝
	第3回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催
	J3リーグ (藤枝MYFC) 開催
	FIFAワールドカップ (ロシア) 長谷部誠 (藤枝東高出身) 日本代表キャプテンとして出場し、チームをベスト16へ導く
	JFA第17回全日本0-50サッカー大会 開催
	全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 (女子) 開催 藤枝順心高校 3位
	第47回全国自治体職員サッカー選手権大会 (別府市) 藤枝市役所 優勝
	FIFAU-20女子ワールドカップ (フランス) 児野楓香・福田まい・福田ゆい (藤枝順心高出身) 出場 優勝
	第6回藤枝シニア草サッカー大会 開催
	自治体職員シニアサッカーフェスティバル2018 開催
	FIFAU-17女子ワールドカップ (ウルグアイ) 長江伊吹 (藤枝順心高) 出場
皇后杯第40回全日本女子サッカー選手権大会 開催	
坂口萌乃、杉田妃和 (藤枝順心高出身) 日本女子代表入り	

平成30年度 静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技 男女アベック優勝



藤枝東高校



藤枝順心高校

FOOD サッカーにまつわる商品(食べ物・飲み物など)



GOODS サッカーにまつわる商品(布製品・雑貨・文具・食器など)



サッカーのまち藤枝ドリームプラン2019 ～歴史・誇り・夢あふれる「蹴球都市ふじえだ」～

発 行 平成 31 年 3 月

発行者 藤枝市

編 集 藤枝市サッカーのまち推進課
〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山1-11-1
TEL 054-643-3138 FAX 054-643-3327
E-mail soccer@city.fujieda.shizuoka.jp



サッカーのまち藤枝ドリームプラン2019

～歴史・誇り・夢あふれる「蹴球都市ふじえだ」～